



IBM ネットワークステーション

IBM ネットワークステーション セットアップおよび使用者の手引き

SA88-5055-00
英文原典 : SA41-0036-03



IBM ネットワークステーション

IBM ネットワークステーション セットアップおよび使用者の手引き

英文原典 : SA41-0036-03
SA88-5055-00

お願い

本書をお読みになる前、および本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず 63ページの『付録B. 特記事項』をお読みください。

最新版を表示したり印刷する場合は、<http://www.ibm.com/nc/pubs> にアクセスしてください。

原 典： SA41-0036-03
IBM Network Station
IBM Network Station Setup and Use May 1998
To view or print the latest update, go to <http://www.ibm.com/nc/pubs>

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1998.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1996, 1998. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1998

目次

安全上および環境上の注意	v
危険のただし書き	v
注意のただし書き	vi
環境への配慮	vi
本書について	vii
関連情報	viii
第1章 ネットワークステーションの概要	1
第2章 タイプ 8361 ネットワークステーションのセットアップ	3
タイプ 8361 ネットワークステーションの構成要素	3
論理装置	5
電源モジュール	6
キーボードとマウス	6
通信要件	6
セットアップ手順のステップ	7
タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 への平衡型アドレスの割り当て	15
第3章 タイプ 8362 ネットワークステーションのセットアップ	17
タイプ 8362 ネットワークステーションの構成要素	17
論理装置	18
電源モジュール	19
キーボードとマウス	20
通信要件	20
セットアップ手順のステップ	20
第4章 ネットワークステーションの使用	25
第5章 メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュのアップグレードおよび交換	27
静電気による損傷を受けやすい装置の取り扱い	27
タイプ 8361 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュールおよびビデオ・メモリー・モジュールのアップグレード	27
タイプ 8362 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュの取り付け	32
第6章 問題の解決と IBM ネットワークステーションの取り替え	39
問題解決手順のステップ	39
ネットワークステーションの取り替え	49
タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え	49
タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え	50

付録A. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ・リスト	51
タイプ 8361 ネットワークステーションのパーツ	51
タイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ	54
付録B. 特記事項	63
電源管理	63
製品のリサイクルと廃棄	65
タイプ 8361 ネットワークステーションの電波障害に関する特記事項	65
電波障害に関する特記事項	66
タイプ 8362 ネットワークステーションの電波障害に関する特記事項	66
電波障害に関する特記事項	66
商標	66
索引	69

安全上および環境上の注意

安全上および環境上の注意には、IBM ネットワークステーション・ネットワーク・コンピューターの安全な使用に関連する情報が記載されています。これには、危険、重要、注意のいずれかのただし書きの形式が採用されています。

危険のただし書き

危険のただし書きでは、この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある危険のある内容を示します。以下に挙げる危険のただし書きが、本書全般にわたって採用されています。

危険

感電事故を防止するために、システムを据え付けるときは、信号ケーブルを接続する前にすべての装置の電源コード・プラグを電源コンセントから確実に抜いておいてください。(RSFTD202)

危険

感電事故を防止するために、システムに装置を追加するときには、装置に信号ケーブルを接続する前に、できれば、既存のシステムから電源コードをすべて抜いておいてください。(RSFTD205)

危険

感電事故防止のために、雷雨中に通信回線、表示装置、印刷装置、または電話機などのケーブルや避雷器の接続または切り離しの作業は行わないでください。(RSFTD003)

危険

電位差のある 2 つの物体の表面に同時に触れたときに起こりうる感電事故を防止するために、できれば片手で信号ケーブルの接続または切り離しを行ってください。(RSFTD004)

⚠ 危険

感電事故を防止するために、**IBM** ネットワークステーションの論理装置を開ける前に、電源コードを電源コンセントから抜いておいてください。(RSFTD215)

⚠ 危険

感電事故の危険を抑制するために、**IBM** が承認する **AC** 電源のみを使用してください。(RSFTD216)

注意のただし書き

注意のただし書きでは、この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示します。

環境への配慮

ネットワークステーションの設計段階における環境への配慮は、**IBM** の製品および工程の品質を向上させるための **IBM** の努力に活かされています。こうした努力の成果の一部として、次のようなものを挙げることができます。

- 製造工程におけるクラス I オゾン層破壊化学物質の使用廃止
- 製造での廃棄物の削減
- 電力使用効率の向上

詳細については、**IBM** の営業担当員にお問い合わせください。

本書について

IBM ネットワークステーション・ネットワーク・コンピューターでは、業界標準のモニター、キーボード、およびマウスの使用が可能です。構成要素の接続後、このネットワーク・コンピューターは、複数の IBM プラットフォームに接続することもできます。本書には、ネットワークステーションの部品の取り付け、アップグレード、または交換を行う場合に必要な情報が記載してあります。

第1章 ネットワークステーションの概要 では、ネットワークステーションの諸機能について説明しています。

第2章 タイプ 8361 ネットワークステーションのセットアップ では、タイプ 8361 ネットワークステーションの構成要素を識別し、接続する方法について説明しています。

第3章 タイプ 8362 ネットワークステーションのセットアップ では、タイプ 8362 ネットワークステーションの構成要素を識別し、接続する方法について説明しています。

第4章 ネットワークステーションの使用 には、タイプ 8361 ネットワークステーションおよびタイプ 8362 ネットワークステーションで使用することができるソフトウェア機能、およびその説明が記載されている箇所がリストしてあります。

第5章 メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュのアップグレードおよび交換 には、ネットワークステーションのメモリー・モジュールのアップグレードまたは交換を行う場合に必要なステップがリストしてあります。

第6章 問題の解決と IBM ネットワークステーションの取り替え では、問題の診断および修理に関する情報を記載しています。

付録A. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ・リスト には、タイプ 8361 ネットワークステーションおよびタイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ・リストが掲載してあります。

最新の更新を表示または印刷する場合は、下記のインターネット・アドレスにアクセスしてください。

<http://www.ibm.com/nc/pubs>

注: 本書の新版の刊行以前に本書の内容に対して行われる更新については、英語版のみに限らせていただきます。

関連情報

サーバーへのネットワークステーションの接続に関する詳細、および一般的なネットワーク管理者要件については、*IBM Network Station Manager* インストールおよびユーザーの手引き (SD88-5061) および *5250 Information Display System Planning Guide* (GA21-9337) を参照してください。

ネットワークステーションに接続されるモニターおよびプリンターに関する情報については、該当の装置に関する特定の資料を参照してください。

第1章 ネットワークステーションの概要

IBM ネットワークステーション・ネットワーク・コンピューター (本書では以後ネットワークステーションと呼ぶ) は、イントラネット、インターネット、および Java などのようなリーディング・エッジ (前縁) アプリケーション・テクノロジーの利点を活用するネットワーク・コンピューターです。このコスト節減型ネットワーク・コンピューターは、グラフィカル・ユーザー・インターフェースを搭載した、単純な非プログラマブル・ワークステーションに似ています。

ネットワークステーションには、機構として PowerPC マイクロプロセッサ、ランダム・アクセス・メモリー (RAM)、オプションのスマート・カード・ドライブ (タイプ 8362 の場合のみ)、シリアル・ポート、および並列ポートが搭載されます。ネットワークステーションには、イーサネット接続、トークンリング接続、または平衡型接続をサポートするネットワーク・インターフェース・コネクタが内蔵されています。

ネットワークステーションの電源をオンにすると、以下のことが行われます。

- ネットワーク・コンピューターが初期ハードウェア診断を実行する。
- ネットワーク・コンピューターが、割り当てられたサーバーとの間で通信セッションを確立する。
- ネットワーク・コンピューターが、サーバーからランダム・アクセス・メモリー (RAM) 内へオペレーティング・システム・コードをダウンロードする。

オペレーティング・システム・コードがネットワークステーションにロードされると、ログオン画面が表示されます。この画面では、システム情報、ユーザー ID 情報、およびパスワード情報が要求されます。ネットワークステーションは、ユーザー情報を検証し、アプリケーションの外観やキーボード・マッピングなど、ユーザーの個人的なシステム構成および設定の変更をダウンロードします。ユーザーは、ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 上で使用しているどのネットワーク・コンピューターにも、固有の設定の変更をダウンロードしておくことができます。そうしておけば、ネットワーク・コンピューターは他の許可サーバーと通信することができます。

IBM Network Station Manager のソフトウェア・パッケージがサーバーに導入されると、ネットワークステーションでは、以下に挙げるタスクのいずれもがサポートされます。

- ネットワーク・コンピューターが、5250 エミュレーターおよび 3270 エミュレーターとして動作する。
- ネットワーク・コンピューターが、Web ブラウザーなどのソフトウェアを使用して、インターネットに接続する。
- ネットワーク・コンピューターが、X-Windows 端末サポートを介して、PC サーバー上のパーソナル・コンピューター・アプリケーションにアクセスする。この機能の場合は、追加のサポート・プログラムが PC サーバー上に導入されている必要があります。

- ネットワーク・コンピューターが、ローカル・プリンター、またはホストに接続されている構成済みプリンターで印刷を行う。
- ネットワーク・コンピューターが、Java アプリケーションにアクセスし、ローカル Java 仮想マシンでアプレットする。

ネットワークステーションは、セットアップも使用も管理もサポートも簡単です。ソフトウェアおよびデータの保守が中央設置場所で行われるので、従来型のデスクトップ・ワークステーション上にアプリケーションやデータを保管する必要がありません。したがって、1 台のデスクトップ・ネットワーク・コンピューター、つまり、IBM ネットワークステーションだけで、現行のビジネス・アプリケーション、インターネット、社内イントラネット、および複数のサーバーにすべてアクセスすることができます。

2 IBM ネットワークステーション: IBM ネットワークステーション セットアップおよび使用者の手引き

第2章 タイプ 8361 ネットワークステーションのセットアップ

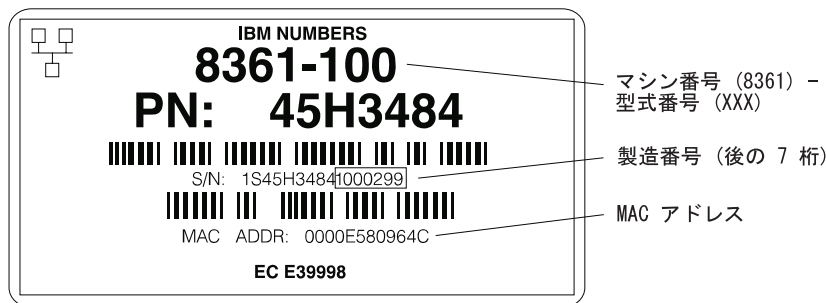
この章では、タイプ 8361 ネットワークステーションのパーツについて説明します。また、この章には、ネットワーク・コンピューターをセットアップし、ネットワークに接続する場合に必要な情報も記載されています。

ネットワーク・コンピューターのパッケージ・ラベルに記載されている製造番号、マシン番号、型式番号、およびメディア・アクセス制御 (MAC) アドレスを 3 ページの表 1 に記入します。ラベルを識別するにあたっては、3 ページの図 1 を参照すると役立ちます。設置メモリーについては、パッキング・スリップの記載を転記してください。

こうして製造番号、マシン番号、型式番号、および設置メモリーの情報を記録しておくことで、構成および保守の際に簡単に参照することができます。構成によっては、ネットワーク・コンピューターの操作に MAC アドレスが必要な場合があります。

表 1. タイプ 8361 ネットワークステーションの構成および保守の記録

カテゴリー :	備考 :
製造番号	
マシン番号および型式番号	
MAC アドレス	
設置メモリー	

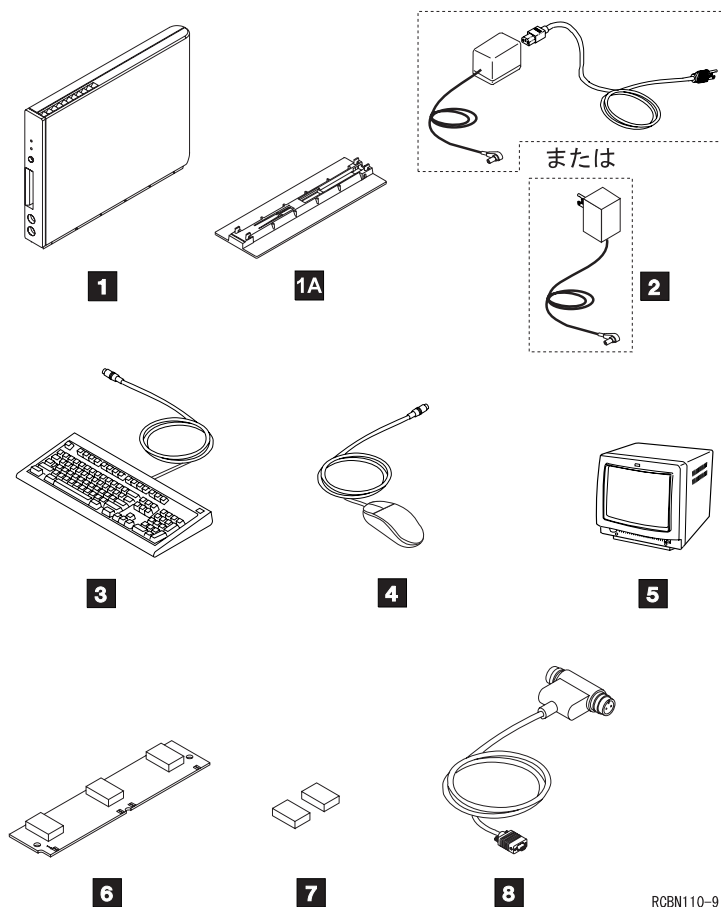


RCBN138-2

図 1. タイプ 8361 ネットワークステーションのパッケージ・ラベル

タイプ 8361 ネットワークステーションの構成要素

ネットワーク・コンピューターの梱包を解くにあたっては、4 ページの図 2 を参照して、タイプ 8361 ネットワークステーションに同梱されているパーツを識別してください。図に続けて各パーツごとの記述が示してあります。



RCBN110-9

図2. タイプ 8361 ネットワークステーションの構成要素

注：品目 5、6、7、および 8 は、IBM オプション・パーツです。したがって、これらの品目については、発注がなされていない場合は、梱包に含まれていません。

- 1 論理装置
- 1A 論理装置基板
- 2 電源モジュール
- 3 キーボード
- 4 マウス
- 5 モニター
- 6 メモリー SIMM
- 7 ビデオ・メモリー・モジュール

論理装置

論理装置は薄型の機構筐体で、外側にコネクタが備えられ、内部にメモリー・オプションを取り付けることができます。

論理装置の外側に備えられているコネクタには、ネットワーク接続用、PCMCIA カード用、シリアル装置用、ローカル・プリンター用、およびモニター用のものがあります。タイプ 8361 ネットワークステーションでは、解像度が VGA 以上のほとんどのモニターをサポートします。

論理装置前面にある PCMCIA スロットには、標準 PCMCIA カードを差し込むことができます。PCMCIA カードの使用によって、通信、メモリー増設、またはアプリケーションなどの機能をネットワーク・コンピューターに追加することができます。

論理装置の内部には、シンプル・インライン・メモリー・モジュール (SIMM) 用のスロットが 2 本設けられています。この SIMM には、サーバーからダウンロードされたオペレーティング・システム・コードが保管されます。

表 2. タイプ 8361 ネットワークステーションのモデル、基本メモリー、およびネットワーク・コネクタ表

マシン番号 - 型式番号	基本メモリー	ネットワーク・コネクタ
8361-110	16 MB EDO	イーサネット
8361-210	16 MB EDO	トークンリング
8361-341	16 MB EDO	平衡型

型式番号のいかにかわらず、8 MB、16 MB、または 32 MB のオプション SIMM を 1 枚追加することができます。モデル 8361-110、8361-210、および 8361-3xx の場合は、EDO メモリーが必要です。型式番号が 110、210、および 3xx の場合は、本来取り付けられている 16 MB EDO SIMM に代えて、32 MB EDO SIMM を取り付けることができます。

論理装置には、オプションのビデオ・メモリー・モジュール用のソケットが 2 つ備えられています。IBM では、製造段階で論理装置に 1 MB のビデオ・メモリーを搭載してあります。オプションのモジュールをソケットに取り付けることによって、1 MB のビデオ・メモリーを追加することができます。

ビデオ・メモリーのアップグレードによって、さらに高解像度の VGA モニターの諸機能がサポートされます。ビデオ・メモリーのアップグレードによって、モニターの解像度を 1600 x 1200 ペルまで引き上げることができます。

論理装置基板 **IA** を取り付ければ、タイプ 8361 ネットワークステーションを縦に立てることができるので、所要デスク・スペースを減らすことができます。

電源モジュール

タイプ 8361 ネットワークステーションには、2 種類の電源機構が用意されています。ネットワーク・コンピューターと一緒に出荷されている電源モジュールは、現地用の特別設計になっています。

一方の電源モジュールの場合は、電源コンセントにプラグを直接差し込むことができます。もう 1 種類の電源モジュールの場合は、プラグを論理装置に差し込み、取り外し可能な電源コードが付いているので、これを使用して電源モジュールを電源コンセントに接続します。

キーボードとマウス

タイプ 8361 ネットワークステーションでは、IBM 標準キーボードおよびマウスを採用しています。オプションの 5250 キーボード・コンバーター (61ページの表 15 を参照) を購入すれば、5250 122 キー・キーボードを使用することもできます。ただし、このコンバーターについては、別途に発注していただく必要があります。


通信要件

タイプ 8361 ネットワークステーションによる通信には、RJ-45 ケーブル・コネクタ、または論理装置背面に備えられているミニ D シェル・ケーブル・コネクタを使用します。通信のタイプは、イーサネット、トークンリング、または平衡型です。使用する通信のタイプは、タイプ 8361 ネットワークステーションの型式番号に応じて決まっています。5ページの表 2 を参照してください。論理装置のマシン番号および型式番号は、サイド・カバーに設けられている取り付け孔のそばにはってあるラベルに印刷してあります。

タイプ 8361 ネットワークステーションのモデル 110 の場合は、RJ-45 (8 線) コネクタを備えたイーサネット電話対より線 (TTP) が必要です。これは、距離、ハブ、およびタップに関する通常の要件および標準に適合する、業界標準 10BaseT (RJ-45 プラグ) ケーブルです。ケーブル・タイプはカテゴリ 3 です。

タイプ 8361 ネットワークステーションのモデル 210 の場合は、RJ-45 (8 線) コネクタを備えたトークンリング電話対より線 (TTP) が必要です。距離およびタップに関する業界標準トークンリング要件および標準が適用されます。必須ケーブル・タイプは、4 MB リング速度運用の場合は、カテゴリ 3 です。16 MB リング速度運用の場合の必須ケーブル・タイプは、シールド対より線カテゴリ 4 または 5 です。

注: 対より線ケーブルを適正に接続した場合の放射電磁波は、使用国の電波障害規制に適合する必要があります。


タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 の場合は、自動終端平衡型 T コネクター・ケーブル  へのミニ D シェルが必要です。このケーブルは、サーバーからの平衡型ワークステーション接続ケーブルに接続されます。個々のネットワーク・コンピューターのそれぞれに対して、セットアップ・ユーティリティを介して、または *Network Station Manager* から、固有の平衡型アドレスを設定する必要があります。詳細については、15ページの『タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 への平衡型アドレスの割り当て』、または *IBM Network Station Manager* インストールおよびユーザーの手引き (SD88-5061) に記載の説明を参照してください。

注: *IBM Network Station Manager* インストールおよびユーザーの手引き (SD88-5061) については、サーバー・ソフトウェアに添えて出荷されている場合があります。また、インターネットで <http://www.ibm.com/nc/pubs> にアクセスしてご利用いただくことができます。

セットアップ手順のステップ

タイプ 8361 ネットワークステーションのセットアップにあたっては、あらかじめ以下のものを用意しておく必要があります。

- 米国英語以外のキーボードに関するキーボード言語識別コード。省略時キーボードは、米国英語キーボードのセットアップになります。キーボード言語識別コードを変更する方法の詳細については、*IBM Network Station Manager* インストールおよびユーザーの手引き (SD88-5061) に記載の説明を参照してください。
- ホスト・サーバーへの論理装置の接続に使用される通信ケーブル。

注: IBM が通信ケーブル  を出荷するのは、タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 の場合だけです。タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 110、または 210 の場合は、IBM が通信ケーブルを添えて出荷することはありません。

通信ケーブルがない場合は、6ページの『通信要件』を参照して、必要なケーブルのタイプを判別してください。

タイプ 8361 ネットワークステーションのセットアップには、以下のステップを実行します。

1. 電源モジュールは、タイプ 8361 ネットワークステーションに添えて提供されているものだけを使用します。電源モジュールには、次のいずれか 1 つのマーク付けが行われています。

- クラス II および定格：入力：120 V AC 60 Hz. 0.41 A; 出力：18 V AC 40 VA 最大
- クラス II および定格：入力：110 ～ 127 V AC 60 Hz. 0.41 A; 出力：18 V AC 40 VA 最大
- クラス I および定格：入力：230 V AC 50 Hz. 0.3 A; 出力：18 V AC 40 VA 最大
- クラス I および定格：入力：220 ～ 240 V AC 50/60 Hz. 0.3 A; 出力：18 V AC 40 VA 最大

注：タイプ 8362 ネットワークステーションの電源モジュールをタイプ 8361 ネットワークステーションに使用することがないようにします。

以下のセットアップ手順を始める前に、vページの『安全上および環境上の注意』に記載の説明をお読みください。

2. タイプ 8361 ネットワークステーションに取り付けるために、メモリー・モジュール・オプション (4ページの図 2 の 6 または 7) を受け取っている場合は、27ページの『第5章 メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュのアップグレードおよび交換』を参照してください。メモリー・モジュールの取り付けが終わったら、ここに戻ってネットワーク・コンピューターの導入を最後まで続けます。
3. 論理装置の設置場所を決めます。

論理装置は、机上に平に置いてもよいし、論理装置基板を使用して、縦に立てることもできます。ただし、論理装置の配置としては、壁面に取り付ける方法を推奨します。

注：タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の恒常的な取り付けに着手する前に、ケーブル・コネクターのすべてにアクセスできる十分なスペースが確保できていることを確認します。

論理装置を壁面に取り付ける場合は、ステップ 8ページの (4) に進みます。

論理装置を机上に平に設置する場合は、ステップ 10ページの (5) に進みます。

論理装置を机上に縦に立てて設置する場合は、ステップ 11ページの (6) に進みます。

4. 論理装置を壁面に取り付ける場合は、以下のようになります。
 - a. 論理装置の取り付けに適した場所を選定する。論理装置の下方に、ケーブルを収容できるスペースを設け、論理装置の上方には、少なくとも 180 mm (7 インチ) のスペースを空けます。
 - b. 壁面の 2 箇所に取り付けねじの位置を示すマークを付ける。このマークは、論理装置の最上部になる位置よりも約 50 mm (2 インチ) 下方に引いた水平線上に付

けます。また、このマークは、間隔を 137 mm (5 3/8 インチ) 空けて付けます。取り付けねじの位置を示すマークを付けるにあたっては、10ページの図3をテンプレートとして参照してください。

- c. 壁面取り付け用の適切な固定用金物を使用して、ねじ頭径が 9 mm (3/8 インチ) 以下のねじを 2 本取り付け。ねじ頭の高さが壁面から 7 mm (1/4 インチ) 以下になるようにします。10ページの図3を参照してください。約 5 kg (11 lb) の重量を十分に支えることができる取り付けであることが必要です。
- d. 取り付け孔 (10ページの図3の **A**) の位置が取り付けねじの上に来るようにする。論理装置を壁面に沿って下方にスライドさせて、取り付けねじに引っ掛けます。
- e. カバーから突き出ている 2 つのタブ (10ページの図3の **B**) を使用して、論理装置が外れないようにする。ロックが 1 つまたはねじが 2 本付いた 3.8 mm (1/8 インチ) ケーブルなどの器具を 2 つのタブ内に取り付けて、論理装置をしっかりと固定します。この器具については、ネットワーク管理者に連絡して、社内で使用されている器具を入手してください。

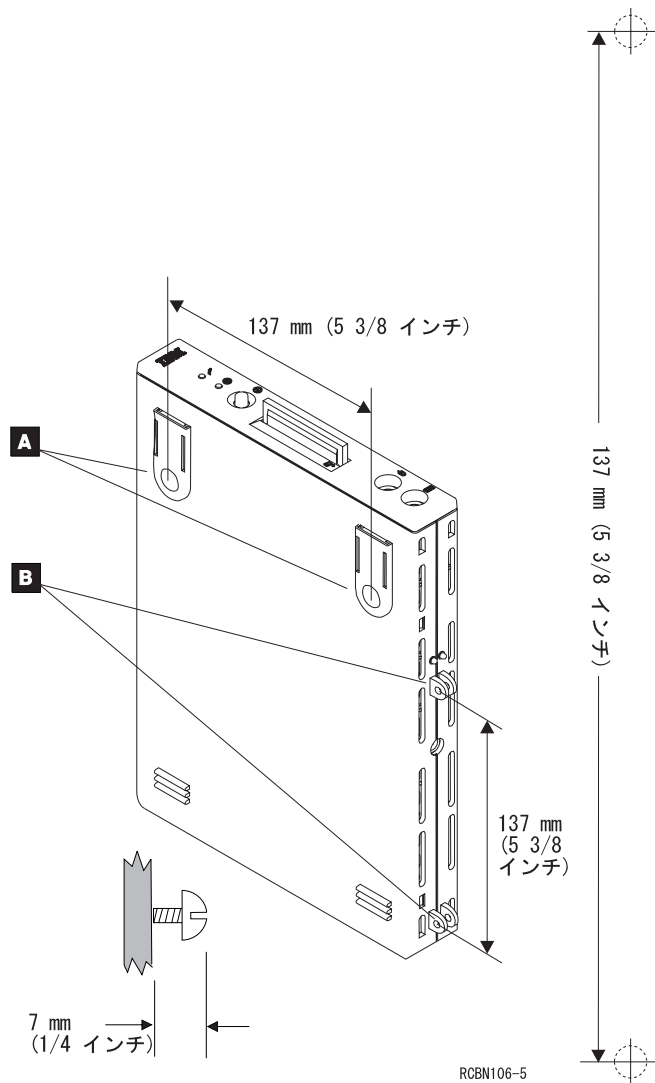


図3. タイプ 8361 ネットワークステーションの取り付け図およびテンプレート

f. ステップ 12ページの (7) に進んでください。

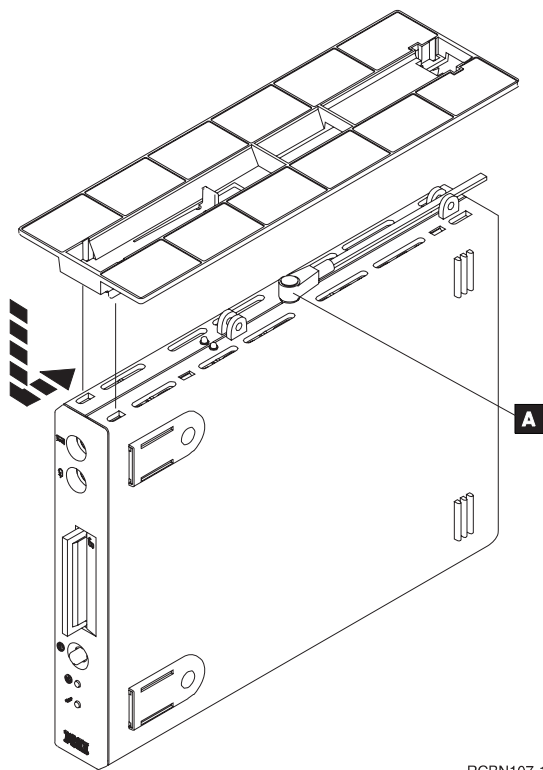
5. 取り付け孔 (10ページの図3 の **A**) を下にして、タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置を表面が平な面上に、キーボードおよびモニターが置ける十分なスペースを空けて配置します。

重要： 論理装置の上にモニターを置くことはできません。論理装置のケースは、強度が不十分で、モニターの重量を支えることができないからです。

論理装置が外れないようにするために、カバーから突き出ている 2 つのタブ (10ページの図 3 の **B**) を使用します。ロックが 1 つまたはねじが 2 本付いた 3.8 mm (1/8 インチ) ケーブルなどの器具を 2 つのタブ内に取り付けて、論理装置をしっかり固定します。

ステップ 12ページの (7) に進んでください。

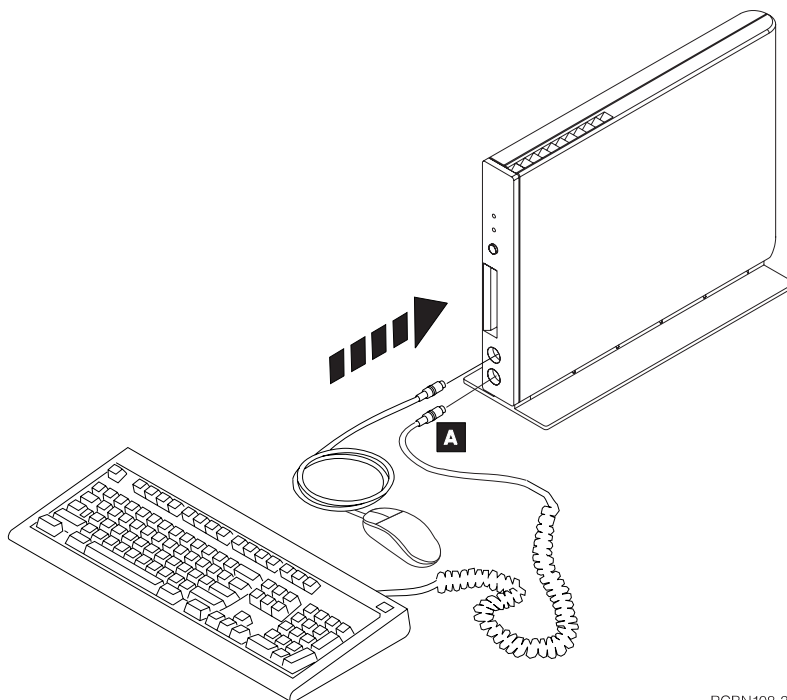
6. 論理装置を縦に立てて設置する場合は、以下のようにします。
 - a. 12ページの図 4 に示されているように、タブが上になり、論理装置の前面が手前に来るように、論理装置を回転させる。
 - b. 電源モジュール・コード (**A**) を論理装置に接続する。
 - c. このコードの位置を論理装置のカバーに合わせる。12ページの図 4 を参照してください。
 - d. 基板上に備えられているタブの位置を論理装置に設けられているスロットに合わせる。
 - e. 軽く音がして正しい位置に収まるまで、基板を後方にスライドさせる。
 - f. 論理装置を回転させて直立位置にする。



RCBN107-1

図4. タイプ 8361 ネットワークステーションの基板の取り付け

- 13ページの図5を参照してください。キーボード・ケーブルおよびマウス・ケーブル **A** のプラグを論理装置の前面に設けられている該当のポートに差し込みます。



RCBN108-3

図5. タイプ 8361 ネットワークステーションのマウスおよびキーボードの取り付け

8. 以下に挙げるタイプ 8361 ネットワークステーションの構成要素の接続にあたっては、14ページの図6 を参照してください。
 - a. 論理装置の背面に備えられているネットワーク・コネクタに、通信ケーブルのプラグを差し込む。

注: 型式番号が 341 の場合は、コネクタねじを締めて、ミニ D シェル・コネクタを論理装置にしっかりと固定します。
 - b. 通信ケーブルの他端をネットワークに接続する。
 - c. 論理装置の背面に備えられているモニター・ポートに、モニター・ケーブルを接続する。
 - d. ローカル・プリンターの使用を計画している場合は、論理装置の背面に備えられている並列ポートに、プリンター・ケーブルを接続する。
 - e. シリアル装置の使用を計画している場合は、論理装置の背面に備えられているシリアル・ポートに、装置ケーブルを接続する。
 - f. コネクタねじをすべて締め付ける。

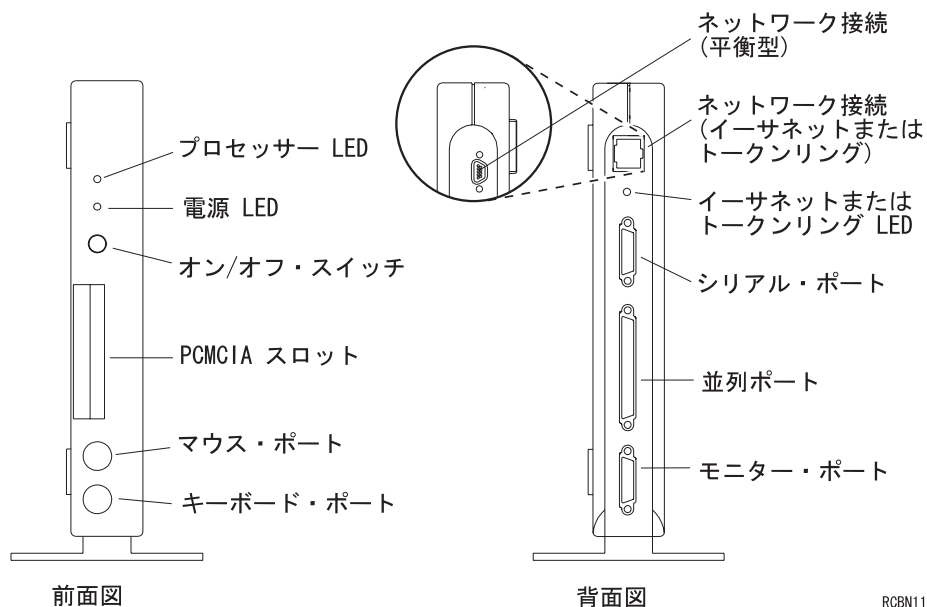


図6. タイプ 8361 ネットワークステーションの構成要素の取り付けを示す前面図および背面図

9. 論理装置を基板に取り付けない場合は、タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置に、電源モジュール・コネクタのプラグを差し込みます。14ページの図7を参照してください。

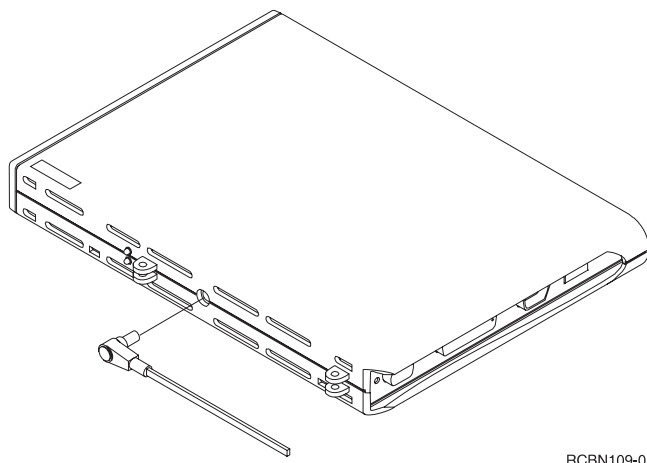


図7. タイプ 8361 ネットワークステーションの電源モジュールの接続

10. 電源モジュール、モニター、およびプリンターの電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。
11. モニター、プリンター、およびタイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の電源をオンにします。

注: 論理装置の電源をオンにする前に、モニターの電源をオンにしてください。ネットワークステーションの構成によっては、最初にモニターの電源をオンしておかないと、適正に初期化が行われない場合があります。

米国英語以外のキーボードを使用する場合は、タイプ 8361 ネットワークステーションの電源を初めてオンにするときは、キーボード言語識別コードを構成する必要がある可能性があります。キーボード言語識別コードを設定する方式は 2 つあり、*IBM Network Station Manager* インストールおよび使用者の手引き に詳述されています。これは、セットアップ・ユーティリティーからでも、*Network Station Manager* プログラムからでも行うことができます。

これで *IBM* ネットワークステーションのハードウェアのセットアップは完了しました。

タイプ 8361 ネットワークステーションを操作するためには、適正に構成されたネットワーク・サーバーへの接続が必要です。サーバーには、一般的に、それぞれのネットワークステーションごとの構成が設定された、*IBM Network Station Manager* ソフトウェアが導入されています。

サーバーおよびネットワークステーションを構成する方法については、*IBM Network Station Manager* インストールおよび使用者の手引き に記載されている説明を参照してください。

タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 への平衡型アドレスの割り当て

タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 の場合は、平衡型ネットワークでの稼働に先立って、論理平衡型アドレスを割り当てておく必要があります。平衡型ネットワークの計画には、相当の時間と労力を要する場合があります。詳細については、*5250 Information Display System Planning Guide (GA21-9337)* を参照してください。平衡型ネットワーク・トポロジーの計画の進行に応じて、タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 のそれぞれに平衡型アドレスを割り当てます。

タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 の電源をオンにする前に、次のリストについてチェックします。

- サーバーの構成および動作が適正である。
- ワークステーション制御装置の電源をオンにする。
- ケーブル接続をすべて締め付ける。

タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 の電源を初めてオンにしたときは、平衡型アドレスの入力を指示されます。0 ～ 6 の範囲の数を入力する必要があります。以前の平衡型トポロジー計画から正しいアドレスを入力してください。

平衡型アドレスの割り当てまたはリセットを手動で行う必要がある場合は、ネットワークステーション・セットアップ・ユーティリティーにアクセスし、以下の指示どおりに実行します。

1. モニターおよび論理装置の電源をオンにする。
2. 黒い画面に NS0500 メッセージが表示されたら、Esc キーを押す。
3. F8 を押して「Set Twinax Station Address」画面にアクセスする。
4. F11 を押して、以前の平衡型アドレスを復元する。
5. 0 ～ 6 の範囲のアドレス値を入力する。
6. Enter (実行) キーを押して、新しい平衡型アドレスを保管する。
7. Enter (実行) キーを押して、論理装置を再始動する。

これで平衡型アドレスが構成されました。

第3章 タイプ 8362 ネットワークステーションのセットアップ

この章では、タイプ 8362 ネットワークステーションのパーツについて説明します。また、この章には、ネットワーク・コンピューターをセットアップし、ホスト・ネットワークに接続する場合に必要な情報も記載されています。

ネットワーク・コンピューターのパッケージ・ラベルに記載されている製造番号、マシン番号、型式番号、およびメディア・アクセス制御 (MAC) アドレスを記録しておきます。ラベルを識別するにあたっては、17ページの図8を参照すると役立ちます。設置メモリーについては、パッキング・スリップの記載を転記してください。

こうして製造番号、マシン番号、型式番号、および設置メモリーの情報を記録しておくことで、構成および保守の際に簡単に参照することができます。構成によっては、ネットワーク・コンピューターの操作に MAC アドレスが必要な場合があります。

表3. タイプ 8362 ネットワークステーションの構成および保守の記録

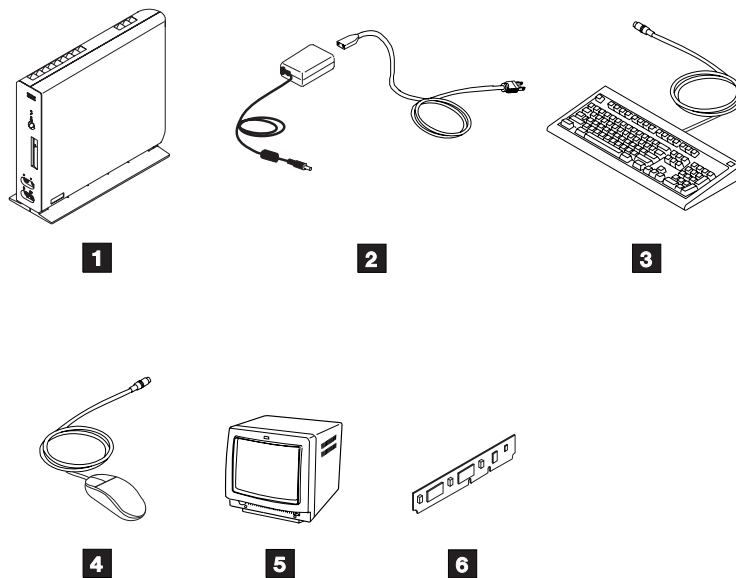
カテゴリー :	備考 :
製造番号	
マシン番号および型式番号	
MAC アドレス	
設置メモリー	



図8. タイプ 8362 ネットワークステーションのパッケージ・ラベル

タイプ 8362 ネットワークステーションの構成要素

ネットワーク・コンピューターの梱包を解くにあたっては、18ページの図9を参照して、タイプ 8362 ネットワークステーションに同梱されているパーツを識別してください。図に続けて各パーツごとの記述が示してあります。



RCCN145-3

図9. タイプ 8362 ネットワークステーションの構成要素

注：品目 5 および 6 はオプションです。したがって、これらについては、発注していただければ、梱包に含まれていません。

- 1 論理装置
- 2 電源モジュール
- 3 キーボード
- 4 マウス
- 5 モニター
- 6 L2 キャッシュ

論理装置

論理装置は薄型の機構筐体で、外側にコネクタが備えられ、内部にメモリー・オプションを取り付けることができます。

論理装置の外側に備えられているコネクタには、ネットワーク接続用、シリアル装置用、ローカル・プリンター用、モニター用、マイクロホン用、ヘッドホン用、スピーカ一用、およびスマート・カード用のものがあります。タイプ 8362 ネットワークステーションでは、解像度が VGA 以上のほとんどのモニターをサポートします。

もし、論理装置背面 PCMCIA スロットが導入されている場合には、標準 PCMCIA カードを差し込むことができます。PCMCIA カードを取り付ければ、通信、メモリー増設、またはアプリケーションなどの機能をネットワーク・コンピューターに追加することができます。

論理装置前面にあるスマート・カード・スロットには、標準スマート・カードを差し込むことができます。スマート・カードを使用すれば、個別設定アプリケーションなどの機能をネットワーク・コンピューターに追加することができます。

論理装置の内部には、シンプル・インライン・メモリー・モジュール (SIMM) 用のメモリー・スロットが 2 本設けられています。この SIMM には、サーバーからダウンロードされたオペレーティング・システム・コードが保管されます。タイプ 8362 ネットワークステーションには、出荷時に 32 MB と 64 MB のどちらかのメモリーが搭載されています。EDO メモリーをペアで使用する場合のみに限り、ネットワークステーションのメモリーを 64 MB にアップグレードすることができます。

表 4. タイプ 8362 ネットワークステーションのモデル、基本メモリー、およびネットワーク・コネクター表

マシン番号 - 型式番号	基本メモリー	ネットワーク・コネクター
8362-A22	32 MB EDO	トークンリング
8362-A23	64 MB EDO	トークンリング
8362-A52	32 MB EDO	イーサネット
8361-A53	64 MB EDO	イーサネット

メモリー・モジュールのアップグレードに関する説明については、32ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュの取り付け』を参照してください。

タイプ 8362 ネットワークステーションの標準ビデオ・メモリーは 2 MB です。ビデオ・メモリーのアップグレードはいっさい不可能です。

システムの適正な冷却を確保するために、タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置は常時縦に立てて設置しておく必要があります。

電源モジュール

ネットワーク・コンピューターと一緒に出荷されている電源モジュールは、現地用の特別設計になっています。電源モジュールのプラグを論理装置に差し込み、取り外し可能な電源コードで電源モジュールを電源コンセントに接続します。

キーボードとマウス

タイプ 8362 ネットワークステーションでは、IBM 標準キーボードおよびマウスを採用しています。

通信要件

タイプ 8362 ネットワークステーションによる通信には、論理装置の背面に備えられている RJ-45 ネットワーク・コネクタを使用します。通信のタイプは、トークンリングまたはイーサネットです。使用する通信のタイプは、タイプ 8362 ネットワークステーションの型式番号に応じて決まっています。論理装置のマシン番号および型式番号は、ネットワーク・コンピューターのサイド・カバーにはってあるラベルに記載されています。マシン番号および型式番号は、8362-A22、8362-A23、8362-A52、または 8362-A53 のいずれかです。

タイプ 8362 ネットワークステーションのモデル A22 および A23 の場合は、RJ-45 (8 線) コネクタを備えたトークンリング電話対より線 (TTP) が必要です。距離およびタップに関する業界標準トークンリング要件および標準が適用されます。4 MB リング速度運用の場合は、カテゴリ 3 ケーブルが必要であり、16 MB リング速度運用の場合は、シールド対より線カテゴリ 4 または 5 が必要です。

タイプ 8362 ネットワークステーションのモデル A52 および A53 の場合は、RJ-45 (8 線) コネクタを備えたイーサネット電話対より線 (TTP) が必要です。これは、10 MB および 100 MB で運用される距離、ハブ、およびタップに関する通常の要件および標準に適合する、業界標準 10BaseT (RJ-45 プラグ) ケーブルです。ケーブル・タイプは、10 MB の場合はカテゴリ 3 以上で、100 MB の場合はカテゴリ 5 です。

注: 対より線ケーブルを適正に接続した場合の放射電磁波は、使用国の電波障害規制に適合する必要があります。

セットアップ手順のステップ

タイプ 8362 ネットワークステーションのセットアップにあたっては、あらかじめ以下に挙げるものを用意しておく必要があります。

- 米国英語以外のキーボードに関するキーボード言語識別コード。省略時キーボードは、米国英語キーボードのセットアップになります。詳細については、*IBM Network Station Manager* インストールおよび使用者の手引き (SD88-5061) に記載の説明を参照してください。
- ホスト・サーバーへの論理装置の接続に使用される通信ケーブル。

注: タイプ 8362 ネットワークステーションの場合は、IBM が通信ケーブルを添えて出荷することはありません。

通信ケーブルがない場合は、20ページの『通信要件』を参照して、必要なケーブルのタイプを判別してください。

タイプ 8362 ネットワークステーションのセットアップには、以下のステップを実行します。

1. 電源モジュールは、タイプ 8362 ネットワークステーションに添えて提供されているものだけを使用します。電源モジュールには、次のいずれか 1 つのマーク付けが行われています。
 - クラス II および定格：入力：100 ～ 240V 1.3A ～ 0.7A 50 ～ 60 Hz.; 出力：16 V - 3.36A (非接地)
 - クラス II および定格：入力：100 ～ 240V 1.3A ～ 0.7A 50 ～ 60 Hz.; 出力：16V - 3.36A (接地)

タイプ 8362 ネットワークステーションのセットアップ手順を始める前に、vページの『安全上および環境上の注意』に記載の情報を読んでください。

2. 論理装置の設置場所を決めます。

タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置を表面が清潔で平な面上に、キーボードおよびモニターを設置できるスペースを空けて、縦に立てて配置します。

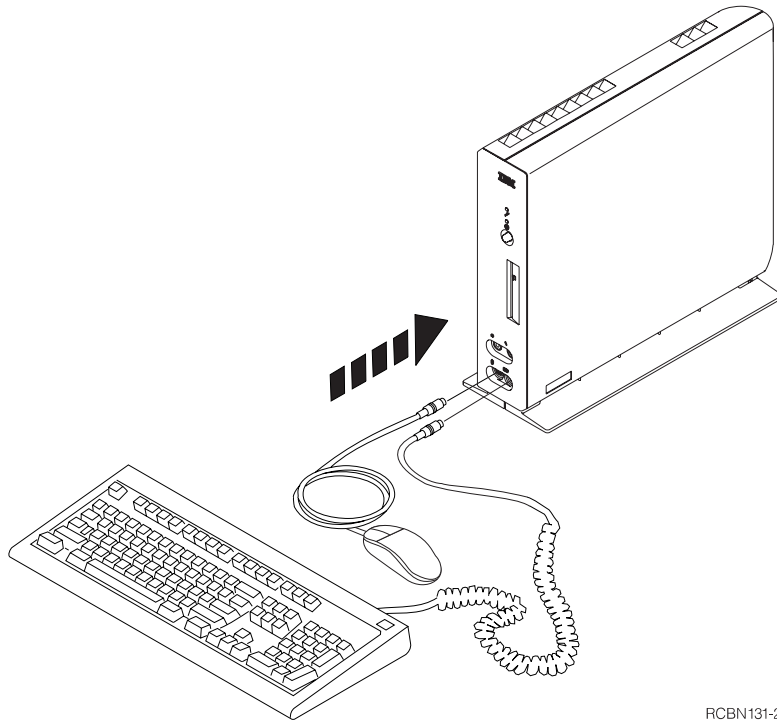
ネットワーク・コンピューターは、常時縦に立てて設置しておき、システムの適正な冷却を確保する必要があります。

3. キーボードのプラグを論理装置の前面に差し込みます。

注: キーボード・コネクタを接続したとき、その矢印が左側を向いている必要があります。

4. マウスのプラグを論理装置の前面に差し込みます。22ページの図 10 を参照してください。

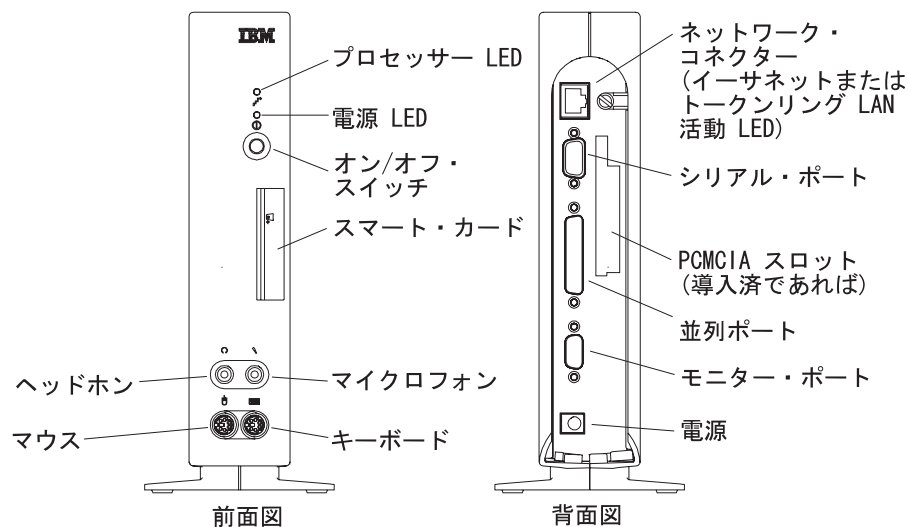
注: マウス・コネクタを接続したとき、その矢印が左側を向いている必要があります。



RCBN131-2

図 10. タイプ 8362 ネットワークステーションのキーボードおよびマウスの取り付け

5. 以下に挙げるタイプ 8362 ネットワークステーションの構成要素の接続にあたっては、23ページの図 11 を参照してください。
 - a. マイクロホンを使用する場合は、論理装置の前面にそのプラグを差し込む。
 - b. ヘッドホンまたはスピーカーを使用する場合は、論理装置の前面にそのプラグを差し込む。
 - c. 論理装置の背面に備えられているネットワーク・コネクタに、通信ケーブルのプラグを差し込む。
 - d. 通信ケーブルの他端をネットワークに接続する。
 - e. 論理装置の背面に備えられているモニター・ポートに、モニター・ケーブルを接続する。
 - f. ローカル・プリンターの使用を計画している場合は、論理装置の背面に備えられている並列ポートに、プリンター・ケーブルを接続する。
 - g. シリアル装置の使用を計画している場合は、シリアル・ポートに装置ケーブルを接続する。
 - h. 電源モジュールを電源コネクタに接続する。



RCBN133-3

図 11. タイプ 8362 ネットワークステーションの構成要素の取り付けを示す前面図および背面図

6. 電源モジュール、モニター、およびプリンターの電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。
7. モニター、プリンター、およびタイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の電源をオンにします。

注: 論理装置の電源をオンにする前に、モニターの電源をオンにしてください。ネットワークステーションの構成によっては、最初にモニターの電源をオンにしておかないと、適正に初期化が行われない場合があります。

米国英語以外のキーボードを使用する場合は、タイプ 8362 ネットワークステーションの電源を初めてオンにするときは、キーボード言語識別コードを構成する必要がある可能性があります。キーボード言語識別コードを設定する方式は 2 つあり、*IBM Network Station Manager* インストールおよび使用者の手引き に記載の説明に詳述されています。これは、セットアップ・ユーティリティーからか、または *Network Station Manager* プログラムから行うことができます。

これで IBM ネットワークステーションのハードウェアのセットアップは完了しました。タイプ 8362 ネットワークステーションを操作するためには、適正に構成されたネットワーク・サーバーへの接続が必要です。サーバーには、一般的に、それぞれのネットワークステーションごとの構成が設定された、*IBM Network Station Manager* ソフトウェアが導入されています。

サーバーおよびネットワークステーションを構成する方法については、 *IBM Network Station Manager* インストールおよび使用者の手引き に記載されている説明を参照してください。

第4章 ネットワークステーションの使用

ネットワークステーションは、業務の要件に応じて、さまざまな使用の方法があります。つまり、ネットワークステーションの使用の方法としては、以下に挙げるものの中から 1 つまたは幾つかを選ぶことができます。

- 5250 エミュレーター
- 3270 エミュレーター
- Web ブラウザー
- Java との併用

ネットワーク・サーバーを構成して、ソフトウェア・アプリケーションがネットワークステーションで使用できるようにする必要があります。通常、この構成はネットワーク管理者が担当します。一般的にサーバー・ソフトウェアに添えて送付されている *IBM Network Station Manager* インストールおよび使用者の手引き (SD88-5061) に記載の情報を参照してください。

IBM Network Station Manager インストールおよび使用者の手引き (SD88-5061) に記載の情報には、下記に関する説明が含まれ、そこでは IBM ネットワークステーションを構成および使用する方法が扱われています。

- Network Station Manager をサーバーに導入し構成する方法
- アプリケーションをサーバーに導入し構成する方法
- ホスト・サーバーに接続する方法
- 下記のようなユーザー・プロファイル・オプションを変更する方法
 - キーボード・スタイル
 - モニター設定値
 - 画面カラー
 - メニュー・バーに表示されるアプリケーション
- ネットワーク・コンピューターからローカル・プリンター、またはホスト・システムに接続されているプリンターに出力して印刷する方法
- データを保管し、アプリケーションをクローズし、サインオフし、ネットワーク・コンピューターの電源を遮断する方法
- 電源管理フィーチャーを構成し使用可能にする方法

第5章 メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュのアップグレードおよび交換

この章では、タイプ 8361 ネットワークステーションまたはタイプ 8362 ネットワークステーションにオプションの、またはアップグレード用のメモリー・モジュールを追加する方法について説明します。

静電気による損傷を受けやすい装置の取り扱い

オプションおよびその他のコンピューター構成要素の取り扱いにあたっては、下記のような注意を払って、静電気による損傷を回避する必要があります。

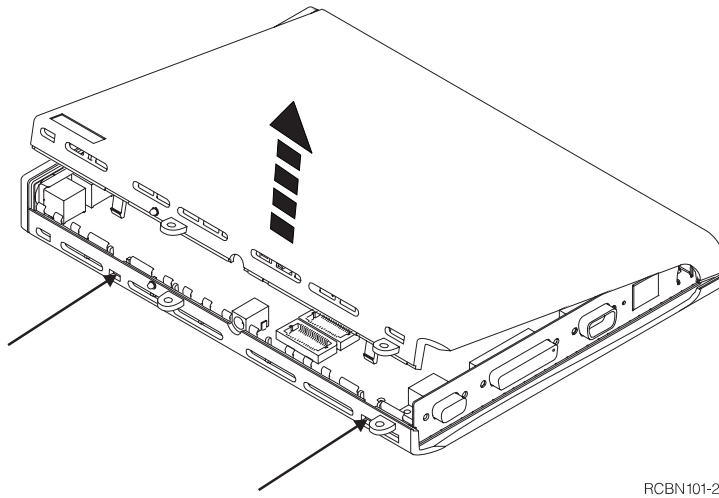
- **警告:** オプションを追加する際には、その取り付け準備が整うまでは、静電気保護パッケージを開かない てください。
- あまり身体を動かさないようにする。身体を動かすと、周囲に静電気が蓄積される原因になりかねません。
- 構成要素の取扱いは常に入念に行う。メモリー・モジュールは、エッジを持って取り扱います。露出している回路には絶対に触れないようにします。
- 他の人には構成要素に触れさせない。
- オプションを取り出したら、できるだけ、下に置かないで直接コンピューター内に取り付ける。そうすることができない場合は、オプションが入っていた静電気保護パッケージを表面が滑らかで平な面上に置き、その上にオプションを置くようにします。
- オプションは、コンピューターのカバーやその他の金属導体面上に置かない。

タイプ 8361 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュールおよびビデオ・メモリー・モジュールのアップグレード

タイプ 8361 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュール (SIMM) のアップグレードや交換を行ったり、タイプ 8361 ネットワークステーションにビデオ・メモリー・モジュールを取り付けたりする場合は、この節に示す手順を用います。新規導入時のアップグレードの場合は、ステップ 3 から始めます。

1. 電源モジュールのプラグを電源コンセントから抜きます。論理装置基板が取り付けられている場合は、リリース・タブを引っ張って基板を取り外します。また、壁面取り付けの場合は、論理装置を持ち上げて取り付け具から外します。
2. 論理装置に接続されているケーブルをすべて取り外します。
3. 以下のようにして、論理装置のカバーを取り外します。
 - a. 28ページの図 12 を参照してください。表面が平な面上に、フロント・パネルが左側に面し、コネクタ類が右側になるようにして、論理装置を置きます。

- b. 小型のロック・クリップが 2 本使用されています。(28ページの図 12 を参照してください。)
- c. ペンのような物を使用して 2 本のクリップをまっすぐに押し込み、上部カバーのロックを外します。
- d. 次のようにしてカバーを取り外します。
警告: このステップを実行しないと、カバーが損傷する場合があります。
 - 1) 青い IBM ロゴが描かれているフロント・パネルを左方に引っ張って、カバーを持ち上げたとき、4 個の小型のタブがフロント・パネルから外れるようにする。
 - 2) カバーが外れるまで後方に傾ける。
 - 3) カバーを取り外して、わきにどけておく。



RCBN101-2

図 12. タイプ 8361 ネットワークステーションのカバー取り外し手順

4. 29ページの図 13 を参照して、論理装置に SIMM が 2 枚取り付けられており (A)、ビデオ・メモリー・モジュール・ソケット (B) があることを確認します。メモリー・オプション SIMM を以前取り付けなかったことがない場合は、論理装置には SIMM が 1 枚しか取り付けられていない可能性があります。

注: タイプ 8361 ネットワークステーションによっては、論理装置内の SIMM が PCMCIA ドライブ (図には示されていない) から離れる向きに傾いている場合があります。

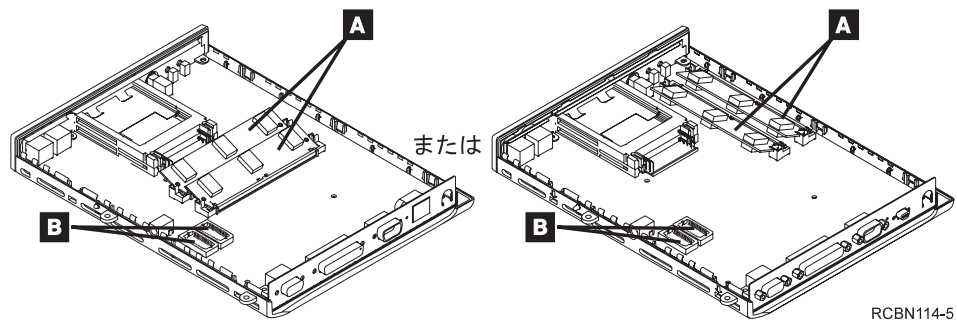


図 13. タイプ 8361 ネットワークステーションの SIMM およびビデオ・メモリー・モジュールの位置

ビデオ・メモリー・モジュールを取り付ける場合は、ステップ 30ページの (7) に進みます。

SIMM の取り付けまたはアップグレードを行う場合は、以下のようにします。

- 論理装置に空いている SIMM ソケットがある場合は、ステップ 30ページの (6) に進みます。

注: モデル 110、210、および 3xx の場合は、EDO メモリーが必要です。

- 論理装置に空いている SIMM ソケットがない場合は、ステップ 29ページの (5) に進みます。

5. SIMM を取り外す場合は、30ページの図 14 を参照して、以下のステップを実行します。

- a. 手指を使って、SIMM ソケットの両端にある 2 個のタブを引き戻します。
- b. SIMM がタブから抜けて飛び出すまで、2 個のタブをさらに引き戻します。
- c. SIMM の両端のエッジをつまんで、ソケットからそっと抜きます。

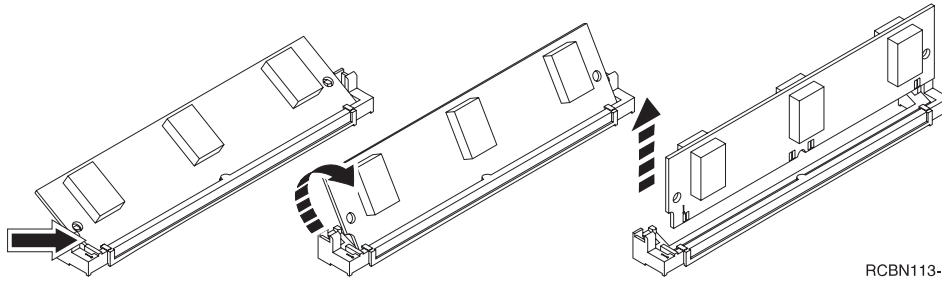


図 14. タイプ 8361 ネットワークステーションの SIMM の取り外し

タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置に適正なメモリーを取り付けて元に戻す方法の説明については、49ページの『タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』を参照してください。

6. 空いているスロットに SIMM を取り付ける場合は、30ページの図 15 を参照し、以下のステップを実行します。
 - a. SIMM の両端のエッジをつまんで、そっとソケットに差し込みます。
 - b. SIMM を後方に傾けて、SIMM ソケットの両端にある 2 個のタブにしっかりとめ込みます。

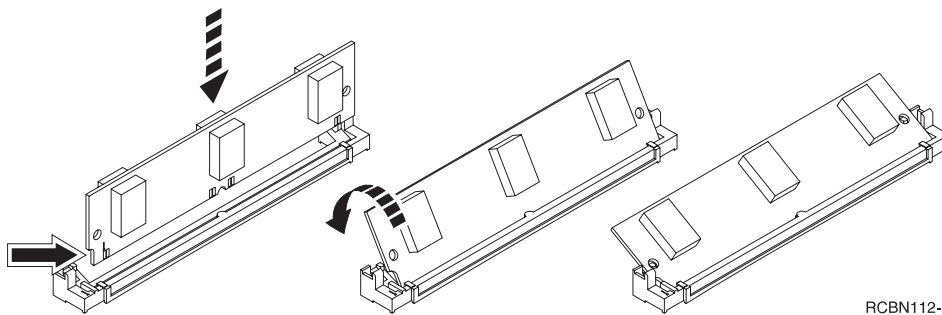


図 15. タイプ 8361 ネットワークステーションの SIMM の取り付け

オプションのビデオ・メモリー・モジュールを取り付ける場合は、ステップ 30ページの (7) に進みます。

オプションのビデオ・メモリー・モジュールを取り付けない場合は、ステップ 31ページの (8) に進みます。

7. オプションのビデオ・メモリー・モジュールをそれぞれ空いているソケット内に取り付けます。ソケットは、29ページの図 13 で **B** として識別されています。31ページの図 16 を参照し、以下のステップを実行します。

- a. メモリー・モジュール (C) の指標 (D) がソケット (B) の指標 (A) に一致するように、モジュールの位置を合わせます。
- b. メモリー・モジュールをソケット内に注意深く押し込みます。

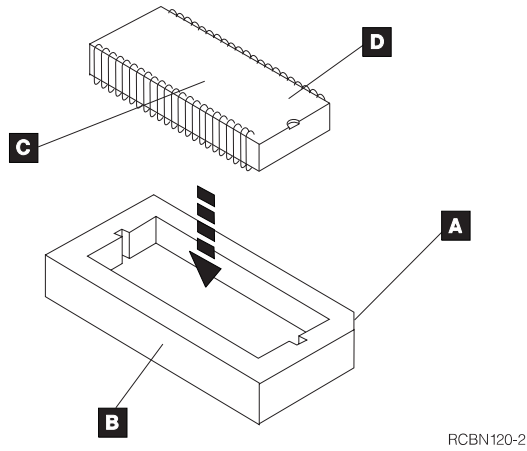
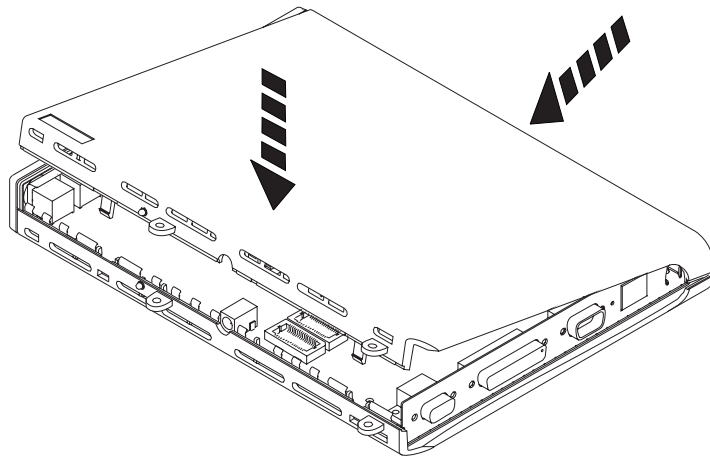


図 16. タイプ 8361 ネットワークステーションのビデオ・メモリー・モジュールの取り付け

8. 32ページの図 17 を参照してください。以下のようにして、論理装置にカバーを取り付けます。
 - a. 表面が平な面上に、前面が左側に面し、コネクタ類が右側になるように、論理装置を置きます。
 - b. 論理装置にかぶせるようにカバーの位置を決めます。
 - c. 論理装置の上部にあるスロットにブラケットの位置を合わせます。
 - d. カバーを斜めにして下ろします。
 - e. 2 個のロック・タブが論理装置底部に設けられている開口部に軽い音を立ててはまり込むまで、カバーを押さえます。
 - f. フロント・パネル寄りのカバーのエッジを押さえ、正しい位置にしっかりとめ込みます。



RCBN105-2

図 17. タイプ 8361 ネットワークステーションのカバーの取り付け

これでメモリーのアップグレードは完了しました。3ページの『第2章 タイプ 8361 ネットワークステーションのセットアップ』を参照して、ケーブルの再接続、論理装置の取り付け、タイプ 8361 ネットワークステーションの電源オンおよび立ち上げを行います。

タイプ 8362 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュの取り付け

タイプ 8362 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュール (SIMM) のアップグレードや交換を行ったり、L2 キャッシュの取り付けや交換を行う場合は、この節に示す手順を用います。

1. 電源モジュールのプラグを電源コンセントから抜きます。
2. 論理装置に接続されているケーブルをすべて取り外します。
3. 以下のようにして、論理装置のカバーを取り外します。
 - a. 33ページの図 18 を参照してください。フロント・パネルが右側に面し、コネクタ類が左側になるようにして、論理装置を机の上に置きます。論理装置基板が手前で机のへりから外れるようにします。
 - b. ネットワーク接続用コネクター側のつまみねじ (A) を緩めます。

注: このねじは、論理装置から完全に抜けることはありません。
 - c. カバー・ラッチ (B) を押し込んで、そのまま保持します。
 - d. 下部カバーを固定したままにしておきます。
 - e. 上部カバー (C) が引っ掛かって止まるまで、左方にスライドさせます。

- f. 上部カバーを注意深く取り外して、メタル・シールドに損傷が生じないようにします。
- g. 上部カバーをわきにどけておきます。

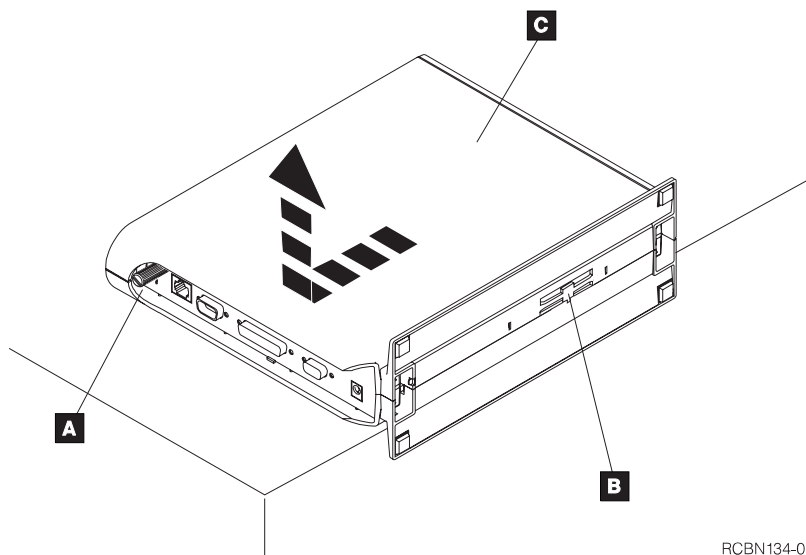
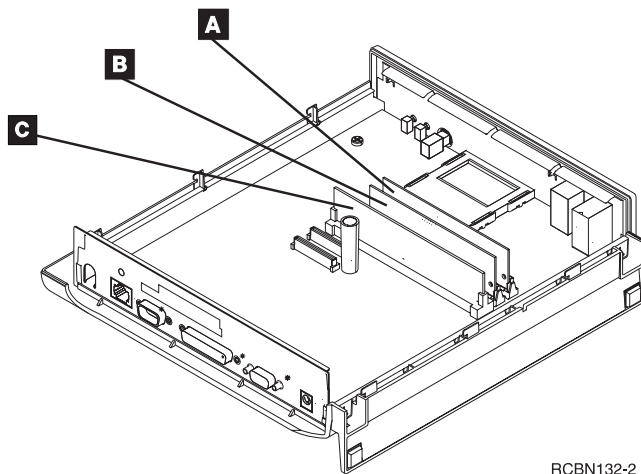


図 18. タイプ 8362 ネットワークステーションのカバー取り外し手順

- 4. 34ページの図 19 に、メイン SIMM スロット (A) および (B) と、L2 キャッシュ (C) の位置が示してあります。



RCBN132-2

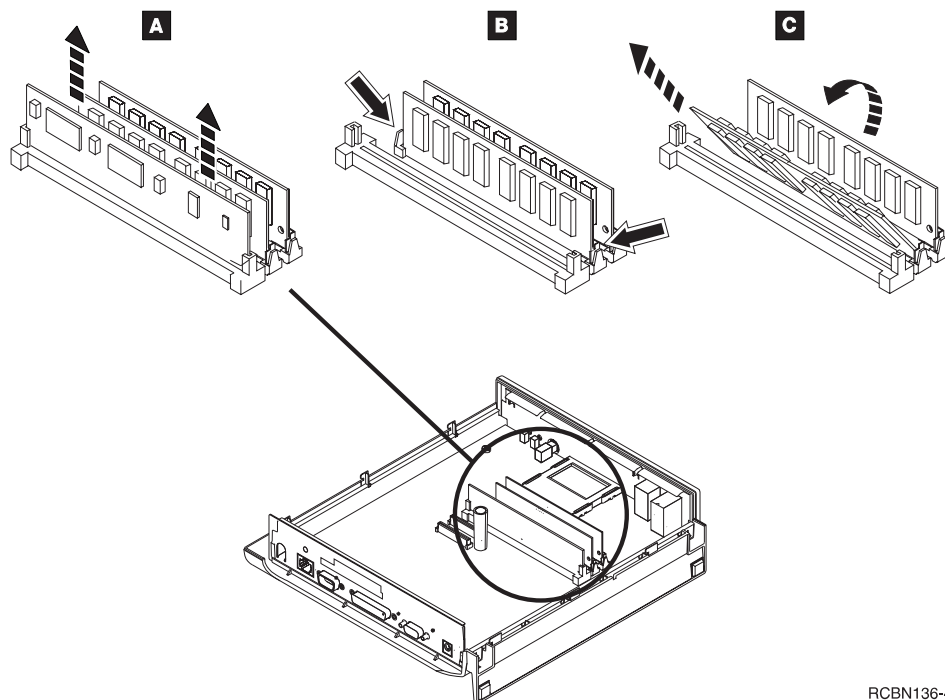
図 19. タイプ 8362 ネットワークステーションの SIMM および L2 キャッシュの位置

L2 キャッシュが取り付けられていない場合は、以下のようにします。

- L2 キャッシュを取り付ける前に、SIMM のアップグレードまたは交換が必要な場合は、ステップ 35 ページの (6) に進みます。
- L2 キャッシュを取り付けるだけの場合は、ステップ 36 ページの (8) に進みます。

L2 キャッシュが取り付けられている場合は、SIMM のアップグレードまたは交換を行う前に、L2 キャッシュを取り外しておく必要があります。次のステップから続行してください。

5. 図 35 ページの図 20 を参照してください。L2 キャッシュを取り外す場合は、以下のステップを実行します。
 - a. 論理装置の背面が手前になるように、ネットワーク・コンピューターを机の上に置きます。23 ページの図 11 を参照してください。
 - b. L2 キャッシュの両端の上隅をつかみます。
 - c. 力を入れて L2 キャッシュを持ち上げ、ソケットから抜きます。
 - d. L2 キャッシュを取り外し、わきにどけておきます。



RCBN136-4

図 20. タイプ 8362 ネットワークステーションの SIMM の取り外し手順

6. 35ページの図 20 を参照してください。SIMM を取り外す場合は、以下のようにします。

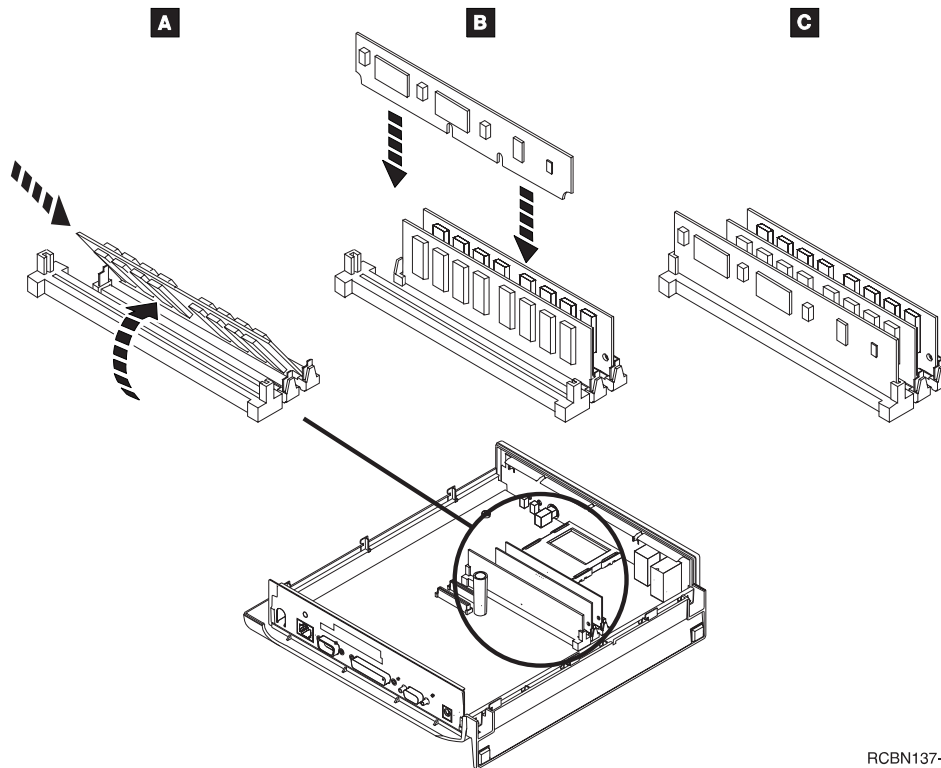
- a. 1 つ目の SIMM ソケットの 2 個のタブ **B** を解放します。
- b. SIMM を手前に倒すように傾けます **C**。
- c. SIMM を取り外し、わきにどけておきます。
- d. 2 つ目の SIMM ソケットの SIMM について、上記のステップ a、b、および c を繰り返します。

タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置に適正なメモリーを取り付けて元に戻す方法の説明については、50ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』を参照してください。

7. 36ページの図 21 を参照してください。新しい SIMM を取り付ける場合は、以下のようになります。

- a. 切り落としノッチを右下にして SIMM を持ちます。
- b. SIMM を 60 度の角度でソケット **A** 内にスライドさせます。

- c. タブによって SIMM が正しい位置にロックされるまで、SIMM を押してまっすぐに起こします。
- d. 2 枚目の SIMM を取り付ける場合は、2 番目の SIMM ソケットで上記のステップ a、b、および c を繰り返します。



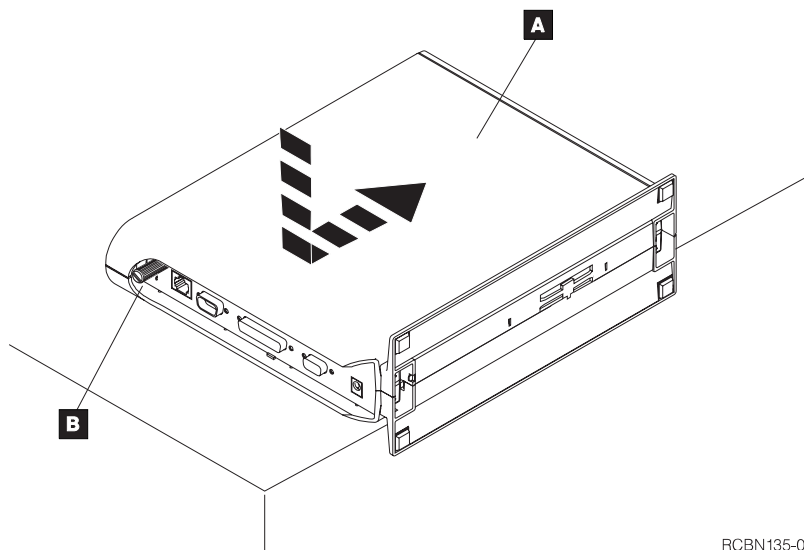
RCBN137-4

図 21. タイプ 8362 ネットワークステーションの SIMM の取り付け手順

8. 36ページの図 21 を参照してください。L2 キャッシュを取り付ける場合は、以下のようになります。
 - a. 背面のコネクター類が手前になるように、ネットワーク・コンピューターを机の上に置きます。
 - b. L2 キャッシュを両手で持ちます。
 - c. L2 キャッシュをソケットの位置に合わせます。

注: L2 キャッシュのコネクター・エッジには、2 箇所ノッチが刻まれています。L2 キャッシュの中心に近い方のノッチをコネクター内のキーの位置に合わせます。

- d. L2 キャッシュの左下隅をソケット内に押し込んで、そのまま保持します。
 - e. L2 キャッシュがソケット内にしっかりと収まるまで、L2 キャッシュの右側をソケットに押し込みます。
 - f. 両手の親指で L2 キャッシュをソケット内に押し込んでしっかりと固定します。
9. 37ページの図 22 を参照し、以下のようにしてカバーを元に戻します。
- a. フロント・パネルが右側に面し、コネクタ類が左側になるようにして、机の上に論理装置を置きます。論理装置基板が手前で机のへりから外れるようにします。
 - b. カバー (A) を下部カバーのガイド・フィンガーの位置に合わせます。
 - c. カバーを注意深く正しい位置に押し込みます。
 - d. つまみねじおよび背面のコネクタ類が手前に来るように、論理装置を回転させます。
 - e. 論理装置基板の真ん中を持ちます。
 - f. 一方の手で論理装置の上部を保持し、もう一方の手で通気孔の辺りを支えます。
 - g. カバー (A) を軽くつかんで、両手の親指で前方にスライドさせます。
 - h. つまみねじ (B) を締めます。



RCBN135-0

図 22. タイプ 8362 ネットワークステーションのカバーの取り付け手順

これでメモリーのアップグレードは完了しました。17ページの『第3章 タイプ 8362 ネットワークステーションのセットアップ』を参照して、ケーブルの再接続、論理装置の取り付け、タイプ 8362 ネットワークステーションの電源オンおよび立ち上げを行います。

第6章 問題の解決と IBM ネットワークステーションの取り替え

この章には、ネットワーク・コンピューターに生じた問題の原因の判別に役立つ情報が記載されています。問題の解決にあたっては、この章にリストされているステップに従っていただきます。

問題の解決ができない場合は、IBM サービスに電話連絡して、ネットワークステーションに関するサービスを依頼することができます。米国の場合は、電話連絡先は 1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) です。IBM サービスに電話連絡する場合は、マシン番号、型式番号、および製造番号を告げる必要があります。タイプ 8361 ネットワークステーションの場合は、この情報は、論理装置カバーの取り付け孔のそばにはってあるラベルに記載されています。タイプ 8362 ネットワークステーションの場合は、この情報は、サイド・カバーの下隅にはってあるラベルに記載されています。

問題解決手順のステップ

ネットワークステーションに生じた問題の原因を判別する場合は、以下のステップに従います。

1. エラー・メッセージ番号、エラー・メッセージ・テキスト、および問題の記述を記録します。
2. 発生した問題に該当する症状の記載を 40ページの表 5、48ページの表 6、48ページの表 7、または 48ページの表 8 の中で探し、記載されている指示に従って問題を解決します。
3. パーツの取り替えが必要な場合は、該当するパーツを 52ページの図 23、または 55ページの図 24 で探し、IBM または購入元販売店に発注します。
保守契約期間中または保証期間内のネットワークステーションである場合は、IBM サービスに連絡して、パーツを取り寄せます。
4. 新しいパーツを受け取ったら、27ページの『第5章 メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュのアップグレードおよび交換』に記載されているパーツの交換に関する説明を参照してください。
5. 論理装置を IBM に返却する必要がある場合は、49ページの『タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』、または 50ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』を参照してください。

問題が引き続き発生する場合は、購入元販売店または IBM に連絡してください。

表 5. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションに関する問題記述表

症状	対症措置
電源 LED がオフ	
タイプ 8361 またはタイプ 8362 ネットワークステーションの電源 LED がオフで、プロセッサ LED もオフ	<ul style="list-style-type: none"> • 電源スイッチがオンになっているかどうか検証します。 • 電源コンセントに別の電気器具のプラグを差し込んで、電源コンセントをテストして、コンセントに電源の異常がないかどうか判別します。 • できれば、別のネットワークステーションの電源機構と交換して、電源機構に障害がないかどうか判別します。 注: タイプ 8362 ネットワークステーションの電源モジュールは、タイプ 8361 ネットワークステーションには使用できません。 • 電源機構が作動している場合は、ネットワークステーションが機能しなくなっています。49ページの『タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』または 50ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』を参照してください。
タイプ 8361 またはタイプ 8362 ネットワークステーションの電源 LED がオフで、プロセッサ LED はオン	ネットワークステーションは機能しなくなっています。49ページの『タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』または 50ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』を参照してください。
モニターの問題	

表 5. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションに関する問題記述表
(続き)

症状	対症措置
モニターが応答しない	<ul style="list-style-type: none"> • モニターが論理装置に適正に接続されているかどうか確認します。 • モニターが電源コンセントに適正に接続され、電源がオンになっているかどうか確認します。 • 論理装置の電源をオンにしたとき、LAN 活動 LED が 1 回明滅し、電源 LED がオンになるかどうか確認します。 • モニターが適正に機能しているネットワークステーションとモニターを交換して、モニターに障害がないかどうか判別します。 • ネットワークステーション・セットアップ・ユーティリティのサーバー解像度が間違っている可能性もあります。 <i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよびユーザーの手引き に記載されている説明を参照してください。 • タイプ 8361 の場合のみ：以下のステップを実行して、SIMM が論理装置内に正しく取り付けられているかどうか確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理装置をオフにする。 2. 論理装置をオンに戻しながら、電源 LED を観察する。 3. 電源 LED が 2 回明滅した場合は、SIMM が脱落しているか、正しく取り付けられていない。システム・メモリーの取り外しおよび取り付けの方法の説明については、ステップ 27 ページの (1) を参照してください。
オペレーティング・システム・コードのダウンロード後の画面がブランク	<p>ネットワークステーション・セットアップ・ユーティリティのネットワークステーション解像度が間違っている可能性があります。 <i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよびユーザーの手引き に記載されている説明を参照してください。</p>
モニターに誤ったカラー、またはスクロールする行が表示される	<p>モニター・ケーブルの接続をチェックし、その上で、必要なら、適正に機能しているモニターをご使用のネットワークステーションでテストします。ネットワークステーション・セットアップ・ユーティリティのネットワークステーション解像度が間違っている可能性があります。 <i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよびユーザーの手引き に記載されている説明を参照してください。</p>
表示イメージが大き過ぎてモニターに収まらない	<p>タイプ 8361 またはタイプ 8362 ネットワークステーションは、使用モニターを自動検出する設定ができます。自動検出が正しく作動するためには、論理装置の電源をオンにする前に、モニターの電源をオンにする必要があります。</p>
エラー・メッセージ	

表 5. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションに関する問題記述表 (続き)

症状	対症措置
<p>メッセージ・テキスト内の記述から問題の原因および解決策の判別を試みます。問題が引き続き発生する場合は、購入元販売店または IBM に連絡してください。</p>	
<p>電源 LED の明滅</p>	
<p>ネットワークステーションが適正に機能せず、電源 LED の明滅 にパターンがある場合は、エラーが発生しています。LED がある回数明滅し、短時間休止した後で、再度同じパターンの明滅を繰り返したとします。以下に挙げる明滅パターンを参照して、エラーを判別します。</p>	
1 回明滅して休止する	<p>シリアル入出力チップが始動テストに応答していません。49ページの『タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』 または 50ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』 を参照してください。</p>
2 回明滅して休止する	<p>システム SIMM が脱落しているか、正しく取り付けられていないか、または欠陥があります。</p> <p>SIMM を取り外して、取り付け直します。タイプ 8361 ネットワークステーションのモデル 110、210、および 3xx の場合は、EDO メモリーが必要なことを記憶に留めておいてください。</p> <p>タイプ 8361 の場合のみ： SIMM の取り外しおよび取り付け直しの説明については、ステップ 27ページの (1) を参照してください。</p> <p>タイプ 8362 の場合のみ： SIMM の取り外しおよび取り付け直しの説明については、ステップ 32ページの (1) を参照してください。</p>
3 回明滅して休止する	<p>メモリー構成が正当性を欠いています。</p>
4 回明滅して休止する	<p>メモリー・テストに不合格でした。</p> <p>タイプ 8361 の場合のみ： SIMM を取り外して、取り付け直します。モデル 110、210、および 3xx の場合は、EDO メモリーが必要なことを記憶に留めておいてください。ステップ 27ページの (1) の説明を参照してください。メモリー・テストに再度不合格の場合は、メモリーを取り替えます。SIMM のパーツ番号については、52ページの表 11 を参照してください。</p> <p>タイプ 8362 の場合のみ： SIMM を取り外して、取り付け直します。ステップ 32ページの (1) の説明を参照してください。メモリー・テストに再度不合格の場合は、メモリーを取り替えます。SIMM のパーツ番号については、55ページの図 24 を参照してください。</p>

表 5. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションに関する問題記述表
(続き)

症状	対症措置
6 回明滅して休止する	ビデオ・メモリーの初期化が正常に行われませんでした。49ページの『タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』または50ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』を参照してください。
7 回明滅して休止する	ビデオ・メモリー・テストに不合格でした。49ページの『タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』または50ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』を参照してください。
メモリーの問題	
メモリー不足	<p>ネットワーク・コンピューターにシステム・メモリーをさらに追加する必要がある可能性があります。アプリケーションによっては、ネットワーク・コンピューターに備えられている以上のメモリーを必要とする場合があります。</p> <p>さまざまなソフトウェアに関するメモリー使用量の要件については、<i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよび使用者の手引きに記載の説明を参照してください。</p>
メモリーの追加	<p>ネットワーク・コンピューターにメモリーを追加する必要がある場合は、52ページの表 11 または 55ページの表 12 を参照して、該当するメモリー SIMM のパーツ番号を探します。</p> <p>タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置内に追加メモリーを取り付ける場合については、27ページの『タイプ 8361 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュールおよびビデオ・メモリー・モジュールのアップグレード』の説明を参照してください。</p> <p>タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置内に追加メモリーを取り付ける場合については、32ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュの取り付け』の説明を参照してください。</p>
キーボードまたはマウスが作動しない	
キーボードの問題	<ul style="list-style-type: none"> • キーボードが論理装置に適正に接続されているかどうか確認します。できれば、キーボードが適正に機能しているネットワーク・コンピューターとキーボードを交換します。 • キーボードがマウス・コネクタに接続されていないかどうか検証します。

表 5. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションに関する問題記述表
(続き)

症状	対症措置
キーボード言語の誤り	キーボード言語が誤りであるか、または異なる言語を使用するネットワーク・コンピューターのキーボードである可能性があります。追加情報については、 <i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよびユーザーの手引き に記載の説明を参照してください。
メッセージ「No input device detected. Startup will continue in one minute.」が表示される	ネットワーク・コンピューターのブート時にこのメッセージが表示された場合は、入力装置の接続が適正でないことを示しています。問題の解決は、以下のようにして行います。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理装置の電源をオフにする。 2. キーボードおよびマウスを切り離す。 3. マウスとキーボードのプラグが正しいコンセントに差し込まれていたかどうか確認した上で、これらの装置を再接続する。 4. 論理装置の電源をオンにする。 <p>なおもこのメッセージが出る場合は、キーボードを取り替える必要がある可能性があります。正しいキーボードのパーツ番号については、56ページの表 13 を参照してください。</p>
メッセージ「Keyboard initialization timeout」が表示される	論理装置の電源をオフにし、キーボードのプラグが正しいコンセントに差し込まれているかどうか確認した上で、論理装置の電源をオンにします。 <p>なおもこのメッセージが出る場合は、キーボードを取り替える必要がある可能性があります。正しいキーボードのパーツ番号については、56ページの表 13 を参照してください。</p>
メッセージ「Mouse status timeout」が表示される	論理装置の電源をオフにし、マウスのプラグが正しいコンセントに差し込まれているかどうか確認した上で、論理装置の電源をオンにします。 <p>なおもこのメッセージが出る場合は、マウスを取り替える必要がある可能性があります。タイプ 8361 ネットワークステーションの場合の正しいパーツ番号については、52ページの表 11 を参照してください。タイプ 8362 ネットワークステーションの場合の正しいパーツ番号については、55ページの表 12 を参照してください。</p>
マウスの問題	マウスが論理装置に適正に接続されているかどうか確認します。できれば、マウスが適正に機能しているネットワーク・コンピューターとマウスを交換します。キーボードがマウス・コネクタに接続されていないかどうか検証します。
シリアル・ポートまたは並列ポートの問題	

表 5. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションに関する問題記述表 (続き)

症状	対症措置
プリンターの問題	ネットワーク・コンピューターのプリンターに関する構成情報が正しいかどうか検証します。詳細については、 <i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよび使用者の手引き に記載の説明を参照してください。
シリアル装置の問題	ネットワーク・コンピューターのシリアル装置の構成情報が正しいかどうか検証します。詳細については、 <i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよび使用者の手引き に記載の説明を参照してください。
通信の問題 (タイプ 8361 ネットワークステーションの場合)	
<p data-bbox="370 604 1289 663">下の図には、タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の LED ライトが示してあります。これらのライトを観察して、問題の原因の判別に役立てることができます。</p> <div data-bbox="370 672 1289 1270" style="text-align: center;"> <p data-bbox="544 800 732 827">プロセッサ LED</p> <p data-bbox="544 856 639 884">電源 LED</p> <p data-bbox="544 913 764 940">オン/オフ・スイッチ</p> <p data-bbox="1057 674 1252 726">ネットワーク接続 (平衡型)</p> <p data-bbox="1057 751 1284 825">ネットワーク接続 (イーサネットまたはトークンリング)</p> <p data-bbox="1057 850 1284 903">イーサネットまたはトークンリング LED</p> <p data-bbox="415 1245 488 1272">前面図</p> <p data-bbox="959 1245 1032 1272">背面図</p> <p data-bbox="1211 1255 1284 1276">RCBN115-5</p> </div> <p data-bbox="370 1312 1289 1495">論理装置の背面を見てください。ネットワーク・コンピューターの通信機能が適正に働いている場合は、緑色のインディケータ LED が定常的にオンの状態を保っているはずです。緑色の LED がオフになっているか、または明滅している場合は、通信に問題が生じています。ただし、トークンリング・モデルの場合だけは、通信に問題が生じていれば、こはく色の LED がオンになっているか、明滅しています。トークンリングの場合のエラーに関する追加情報については、48ページの表 6 を参照してください。</p>	

表 5. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションに関する問題記述表
(続き)

症状	対症措置
<p>緑色の LED のオンが定常的でない</p> <p>トークンリング・モデルの場合のみ：こはく色の LED がオンまたは明滅</p>	<p>ネットワーク・ケーブルが論理装置およびサーバーに正しく接続されているかどうか確認します。</p> <p><i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよび使用者の手引きに記載の説明を参照して、サーバーが適正に機能しているかどうか判別します。</p> <p>トークンリングの場合のエラーを示すインディケータに関する追加情報については、48ページの表 6 を参照してください。イーサネットの場合のエラーを示すインディケータに関する追加情報については、48ページの表 7 を参照してください。</p>
<p>ネットワーク・ケーブルの問題</p>	<p>できれば、適正に機能している別のネットワーク・コンピューターのネットワーク・ケーブルと交換して、ケーブルに障害が生じているかどうか判別します。ケーブルに問題の原因があると判明した場合は、ケーブルを取り替えます。</p>
<p>通信の問題 (タイプ 8362 ネットワークステーションの場合)</p>	

表 5. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションに関する問題記述表 (続き)

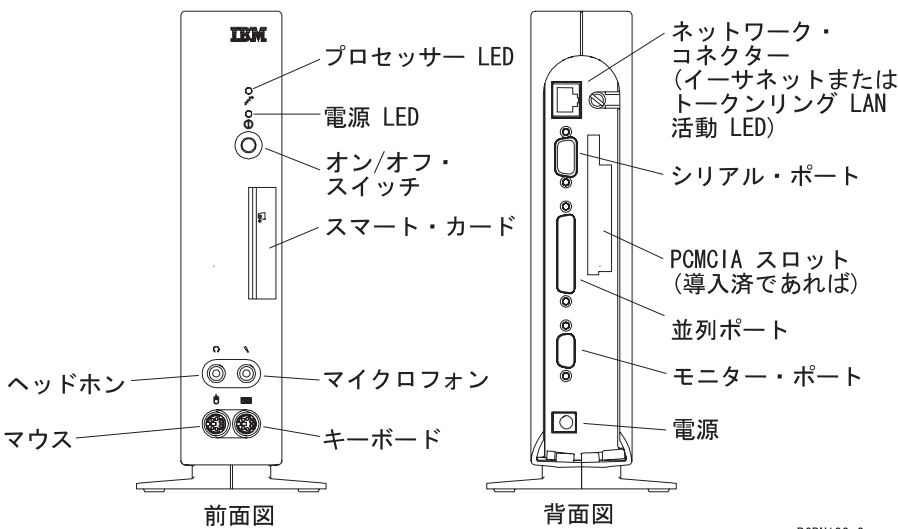
症状	対症措置
<p>下の図には、タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の LED ライトが示してあります。これらのライトを観察して、問題の原因の判別に役立てることができます。</p>  <p>前面図</p> <p>背面図</p> <p>RCBN133-3</p>	
<p>論理装置の背面を見てください。ネットワーク・コンピューターの通信機能が適正に働いている場合は、ネットワーク・コネクタに内蔵されている緑色のインディケータ LED が定常的にオンの状態を保っているのが観察されるはずです。緑色の LED がオフになっているか、または明滅している場合は、通信に問題が生じています。ただし、トークンリング・モデルの場合だけは、通信に問題が生じていれば、こはく色の LED がオンになっているか、明滅しています。トークンリングの場合のエラーに関する追加情報については、48ページの表 6 を参照してください。</p>	
<p>緑色の LED のオンが定常的でない</p> <p>トークンリング・モデルの場合のみ：こはく色の LED がオンまたは明滅</p>	<p>ネットワーク・ケーブルが論理装置およびサーバーに正しく接続されているかどうか確認します。</p> <p><i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよび使用者の手引きに記載の説明を参照して、サーバーが適正に機能しているかどうか判別します。</p> <p>トークンリングの場合のエラーを示すインディケータに関する追加情報については、48ページの表 6 を参照してください。</p>
<p>ネットワーク・ケーブルの問題</p>	<p>できれば、適正に機能している別のネットワーク・コンピューターのネットワーク・ケーブルと交換して、ケーブルに障害が生じているかどうか判別します。ケーブルに問題の原因があると判明した場合は、ケーブルを取り替えます。</p>

表 6. トークンリング通信 LED のエラー表示

こはく色の LED	緑色の LED	説明
オフ	オフ	アダプターが初期化中か、電源がオフか、またはアダプターが活動状態にありません。
オフ	明滅	電源がオフか、またはアダプターが能動的に自己診断を実行しておらず、オープン待ちです。この状態の発生が"オープン" 要求後である場合は、アダプターはクローズしてしまっています。
オフ	オン	アダプターはオープンして作動中です。
オン	オフ	アダプターは自己診断テストに不合格でした。 49ページの『タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』 または 50ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え』 を参照してください。
明滅	オフ	アダプターが障害のため"オープン" 要求に応じられずクローズしてしまったか、不良電線が検出されたか、または"自動除去" 障害が発生しました。
明滅	明滅	アダプターは活動状態で初期化待ちです。
明滅	オン	アダプターがビーコンを検出したか、またはエラーを検出しました。

表 7. イーサネット通信 LED のエラー表示

緑色の LED	説明
オフ	アダプターがイーサネット・シグナルを記録しませんでした。
オン	アダプター・ネットワーク接続は適正に作動しています。

表 8. ネットワークステーションのブートアップ問題

症状	対症措置
ネットワークステーションがサーバーからオペレーティング・システム・コードを受信できない	<ul style="list-style-type: none"> サーバー上に構成の誤りがある可能性があります。説明および正しい設定値については、 <i>IBM Network Station Manager</i> インストールおよび使用者の手引き を参照してください。 タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 の場合のみ：平衡型アドレスの設定が適正でないか、またはワークステーション制御装置の電源がオンになっていない可能性があります。 15ページの『タイプ 8361 ネットワークステーション・モデル 341 への平衡型アドレスの割り当て』 を参照してください。

ネットワークステーションの取り替え

IBM ネットワークステーション・ネットワーク・コンピューターのパーツは、キーボード、マウス、および任意選択機構など、すべてが顧客取り替え可能ユニット (CRU) です。ご使用の論理装置を IBM に返却する方法について知りたい場合は、ご当地の電話番号リストを参照して、IBM Helpcenter に連絡してください。国別保証サービス契約条項および条件が適用されます。

代替論理装置がユーザーの所有に属するのは、障害論理装置と交換する場合であり、その時点で障害論理装置は IBM の所有に属することになります。

タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置の取り替え

ご使用のタイプ 8361 ネットワークステーションの返却にあたっては、最も PCMCIA コネクタ寄りのスロットに取り付けられているオリジナル・メモリーは、返却していただく必要があります。オプションの 8 MB、16 MB、または 32 MB SIMM が取り付けられている場合は、いずれもネットワーク・コンピューターから取り外し、代替品に取り付けていただきます。

ネットワーク・コンピューターの基本メモリーが 16 MB と 32 MB のいずれかにアップグレードされている場合は、このメモリーは、取り外して代替品に取り付けていただきます。オリジナル基本メモリーがない場合は、代替論理装置から障害論理装置に該当の SIMM を移して、IBM に返却していただきます。

ご使用の論理装置と共に IBM に返却していただく正しいメモリーの判別にあたっては、49ページの表 9 を参照してください。

表 9. タイプ 8361 ネットワークステーションのメモリー返却表

マシン番号および型式番号	MB	数量	記述
タイプ 8361-110	16 MB	1	既設 16 MB EDO SIMM
タイプ 8361-210	16 MB	1	既設 16 MB EDO SIMM
タイプ 8361-341	16 MB	1	既設 16 MB EDO SIMM

注: モデル 110、210、および 3xx には EDO SIMM が取り付けられているはずですが。

ビデオ・メモリーは取り外さないでください。1 MB ビデオ・メモリー・アップグレード (29ページの図 13 の B) が取り付けられている場合は、代替論理装置に添えて 1 MB ビデオ・メモリー・アップグレードが送付されます。

論理装置の SIMM の取り外しおよび取り替えの方法については、27ページの『第5章 メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュのアップグレードおよび交換』の説明を参照してください。

タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の取り替え

タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置の返却にあたっては、オリジナル・メモリーを返却していただく必要があります。ネットワーク・コンピューターの基本メモリーが 64 MB にアップグレードされている場合は、このメモリーは、必ず取り外して代替品に取り付けていただきます。オリジナル基本メモリーがない場合は、代替論理装置から障害論理装置に該当の SIMM を移して、IBM に返却していただきます。

ご使用の論理装置と共に IBM に返却していただく正しいメモリー量の判別にあたっては、50ページの表 10 を参照してください。

表 10. タイプ 8362 ネットワークステーションのメモリー返却表

マシン番号および型式番号	MB	数量	記述
タイプ 8362-A22	32 MB	2	既設 16 MB EDO SIMM
タイプ 8362-A23	64 MB	2	既設 32 MB EDO SIMM
タイプ 8362-A52	32 MB	2	既設 16 MB EDO SIMM
タイプ 8362-A53	64 MB	2	既設 32 MB EDO SIMM

ご使用の論理装置に L2 キャッシュが取り付けられている場合は、障害論理装置を IBM に返却する前に、そこから取り外して代替論理装置に取り付けます。

論理装置の SIMM の取り外しおよび取り替えの方法、ならびに L2 キャッシュの取り外しおよび取り替えの方法については、32ページの『タイプ 8362 ネットワークステーションのシングル・インライン・メモリー・モジュールおよび L2 キャッシュの取り付け』の説明を参照してください。

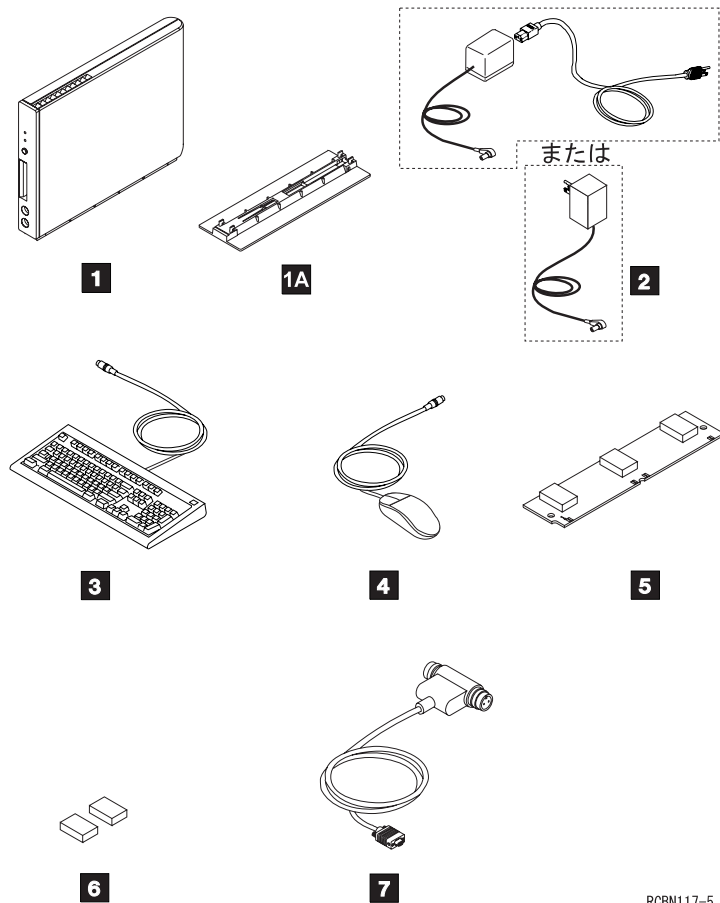
付録A. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションの パーツ・リスト

タイプ 8361 ネットワークステーションおよびタイプ 8362 ネットワークステーションについては、IBM 取り替え用パーツを発注することができます。保証対象および保証対象外スペア・パーツを発注する場合は、ご当地の電話番号リストを参照して、IBM 担当員に連絡してください。国によっては、提供されないパーツもありますので、発注の際には IBM 担当員または IBM 特約店にお問い合わせください。

タイプ 8361 ネットワークステーションのパーツ

タイプ 8361 ネットワークステーション用のパーツには固有のものもあれば、すべてのネットワークステーションに共通のパーツもあります。キーボードのパーツ番号は、すべてのモデルで同じものを使用しています。次の図を参照すれば、発注したいパーツの正しい判別に役立ちます。その上で、下に挙げる表で該当のパーツを探します。

- 52ページの表 11 (タイプ 8361 のパーツ専用)
- 56ページの表 13 (キーボードのパーツ番号)
- 58ページの表 14 (電源コードのパーツ番号)
- 61ページの表 15 (ケーブル配線用パーツ番号)



RCBN117-5

図 23. タイプ 8361 ネットワークステーションの図解パーツ・リスト

表 11. タイプ 8361 ネットワークステーションのパーツ

参照番号	記述	指定国	パーツ番号
タイプ 8361 ネットワークステーションの論理装置および関連パーツ			
1	モデル 110 (イーサネット) 用論理装置		91H3698
1	モデル 210 (トークンリング) 用論理装置		91H3699
1	モデル 341 (平衡型) 用論理装置		17G1553
	タイプ 8361 の取り外し可能論理装置カバー		45H3498

表 11. タイプ 8361 ネットワークステーションのパーツ (続き)

参照番号	記述	指定国	パーツ番号
1A	基板取り付けスタンド		45H3467
7	自動終端平衡型 T コネクター・ケーブルへのミニ D シェル		17G1538
4	マウス (2 つボタン)		06H4595
タイプ 8361 ネットワークステーションの電源モジュール			
2	120 V AC 直接プラグイン式電源モジュール	Anguilla, Antigua, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Brazil, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Curacao, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Guyana, Haiti, Honduras, Jamaica, Liberia, Mexico, Montserrat, Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Philippines, St. Kitts, Tahiti, Tortola, Trinidad, Turks Island, USA, Venezuela, Virgin Islands	45H3490
2	100 V AC 50 または 60 Hz 電源モジュール	日本	45H3495
2	230 V AC 電源モジュール、取り外し可能電源コード付き (表 14 にリストされている電源コードのいずれか 1 つを使用)		45H3491
2	220 ~ 240 V AC 電源モジュール、取り外し可能電源コード付き (表 14 にリストされている電源コードのいずれか 1 つを使用)	Korea	17G1534
2	220 ~ 240 V AC 電源モジュール、取り外し可能電源コード付き (表 14 にリストされている電源コードのいずれか 1 つを使用)		45H3496
タイプ 8361 ネットワークステーションのメモリー・オプション¹			

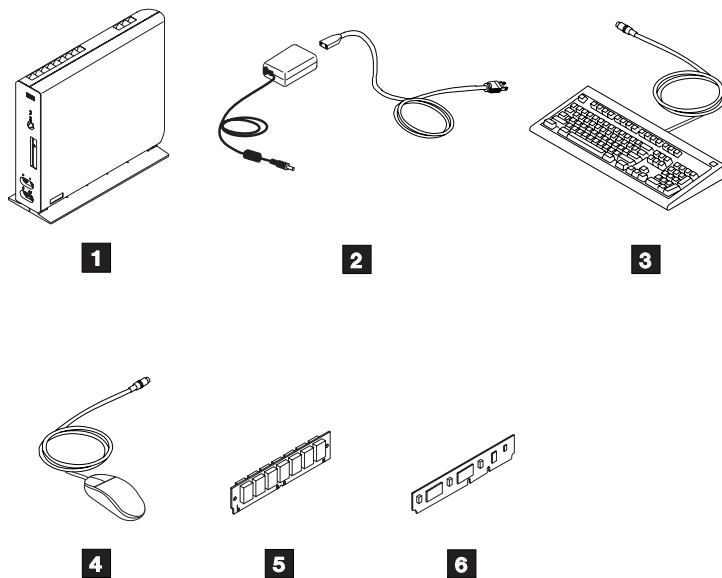
表 11. タイプ 8361 ネットワークステーションのパーツ (続き)

参照番号	記述	指定国	パーツ番号
5	8MB メモリー SIMM		75H5500
5	8MB EDO メモリー SIMM		91H3748
5	16MB メモリー SIMM		75H5501
5	16MB EDO メモリー SIMM		91H3749
5	32MB メモリー SIMM		75H5502
5	32MB EDO メモリー SIMM		91H3750
6	1MB ビデオ・メモリー		42H2828
<p>注:</p> <p>1. タイプ 8361 モデル 110、210、および 3xx では、EDO メモリーが必要です。</p>			

タイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ

タイプ 8362 ネットワークステーション用のパーツには固有のものもあれば、すべてのネットワークステーションに共通のパーツもあります。キーボードのパーツ番号は、すべてのモデルで同じものを使用しています。次の図を参照すれば、発注したいパーツの正しい判別に役立ちます。その上で、下に挙げる表で該当のパーツを探します。

- 55ページの表 12 (タイプ 8362 のパーツ専用)
- 56ページの表 13 (キーボードのパーツ番号)
- 58ページの表 14 (電源コードのパーツ番号)
- 61ページの表 15 (ケーブル配線用パーツ番号)



RBCN130-6

図 24. タイプ 8362 ネットワークステーションの図解パーツ・リスト

表 12. タイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ

参照番号	記述	指定国	パーツ番号
タイプ 8362 ネットワークステーションの論理装置および関連パーツ			
1	モデル A22 (トークンリング) 用論理装置、 L2 キャッシュ なし		07L7560
1	モデル A23 (トークンリング) 用論理装置、 L2 キャッシュ なし		07L7561
1	モデル A52 (イーサネット) 用論理装置、 L2 キャッシュ なし		07L7563
1	モデル A53 (イーサネット) 用論理装置、 L2 キャッシュ なし		07L7564
1	モデル A52 (イーサネット) 用論理装置、 L2 キャッシュ および PCMCIA ドライブな し		07L8691

表 12. タイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ (続き)

参照番号	記述	指定国	パーツ番号
1	モデル A53 (イーサネット) 用論理装置、L2 キャッシュ および PCMCIA ドライブなし		07L8692
	タイプ 8362 の取り外し可能 論理装置カバー		07L7565
4	マウス (2 つボタン)		76H5080
タイプ 8362 ネットワークステーションの電源モジュール			
2	100V ~ 240V AC 電源モジュール、3 ピン・コネクタ (接地)。58ページの表 14 の電源コードが必要な場合があります。		11J8956
2	100V ~ 240V AC 電源モジュール、2 ピン・コネクタ (非接地)。58ページの表 14 の電源コードが必要な場合があります。	日本	11J8974
タイプ 8362 ネットワークステーションのメモリー・オプション¹			
5	16 MB EDO SIMM		91H3749
5	32 MB EDO SIMM		91H3750
6	L2 キャッシュ 512 KB SRAM		75H5462
注:			
1. タイプ 8362 モデル A22、A23、A52、A53 のメモリー・アップグレードは、EDO メモリーをペアで使用して行う以外にありません。			

表 13. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ

参照番号	記述	特定言語	パーツ番号
タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーション用のキーボード			
3	キーボード	アラビア語	8131596
3	キーボード	ベルギー・オランダ語	75H9514
3	キーボード	ベルギー・フランス語	75H9513
3	キーボード	ブラジル・ポルトガル語	73G4616
3	キーボード	ブルガリア語	75H9515

表 13. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ (続き)

参照番号	記述	特定言語	パーツ番号
3	キーボード	中国語 (簡体字)	07H0705
3	キーボード	中国語 (繁体字)	75H9505
3	キーボード	チェコ語	75H9516
3	キーボード	デンマーク語	75H9517
3	キーボード	オランダ語	75H9518
3	キーボード	英国英語	75H9540
3	キーボード	米国英語	75H9505
3	キーボード	英語 (US ISO)	75H9548
3	キーボード	フィンランド語	75H9536
3	キーボード	フランス語	75H9519
3	キーボード	カナダ・フランス語	75H9507
3	キーボード	フランス語 (カナダ 1988)	42H1295
3	キーボード	ドイツ語	75H9520
3	キーボード	ギリシャ語	75H9522
3	キーボード	ヘブライ語	75H9523
3	キーボード	ハンガリー語	75H9524
3	キーボード	アイスランド語	75H9525
3	キーボード	イタリア語	75H9526
3	キーボード	日本語 (漢字)	66G0507
3	キーボード	韓国語 (106)	07H0706
3	キーボード	ノルウェー語	75H9527
3	キーボード	ポーランド語	75H9528
3	キーボード	ポルトガル語	75H9529
3	キーボード	ルーマニア語	75H9530
3	キーボード	ロシア語	75H9532
3	キーボード	ロシア語キリル文字	75H9531
3	キーボード	セルビア語キリル文字	75H9533
3	キーボード	スロバキア語	75H9534
3	キーボード	スロベニア語	75H9541
3	キーボード	スペイン語	75H9535
3	キーボード	ラテンアメリカ・スペイン語	75H9509

表 13. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションのパーツ (続き)

参照番号	記述	特定言語	パーツ番号
3	キーボード	スウェーデン語/フィンランド語	75H9536
3	キーボード	スイス・フランス語	75H9537
3	キーボード	スイス・ドイツ語	75H9537
3	キーボード	スイス・イタリア語	75H9526
3	キーボード	タイ語	75H9545
3	キーボード	トルコ語 (F)	75H9539
3	キーボード	トルコ語 (Q)	75H9538

表 14. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションの取り外し可能電源コード

タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーション用の取り外し可能電源コード		
プラグ	コンセント	パーツ番号
 125V 15A		タイプ 8362 専用 : 75H8989 (1.8 m 5.9 フィート) 76H3516 (1.0 m 3.0 フィート)
 125V 15A		タイプ 8362 専用 : 13H5274 (1.8 m 5.9 フィート) 13H5273 (1.0 m 3.1 フィート)
 250V 10A		<ul style="list-style-type: none"> • タイプ 8361 専用: • 13F9939 (1.8 m 5.9 フィート) • 13F9940 (2.7 m 9 フィート) • タイプ 8362 専用: • 75H8988 (1.8 m 5.9 フィート)

表 14. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションの取り外し可能電源コード (続き)











タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーション用の取り外し可能電源コード		
プラグ	コンセント	パーツ番号
 250V 15A		<ul style="list-style-type: none"> • タイプ 8361 専用: • 1838574 (1.8 m 5.9 フィート) • 1838576 (2.7 m 9 フィート)
 250V 10A		<ul style="list-style-type: none"> • タイプ 8361 専用: • 13F9996 (1.8 m 5.9 フィート) • 13F9997 (2.7 m 9 フィート) • タイプ 8362 専用: • 75H8992 (1.8 m 5.9 フィート)
 250V 10A/16A		<ul style="list-style-type: none"> • タイプ 8361 専用: • 14F0086 (1.8 m 5.9 フィート) • 14F0087 (2.7 m 9 フィート) • タイプ 8362 専用: • 75H8999 (1.8 m 5.9 フィート)
 250V 10A/16A		<ul style="list-style-type: none"> • タイプ 8361 専用: • 14F0068 (1.8 m 5.9 フィート) • 14F0069 (2.7 m 9 フィート) • タイプ 8362 専用: • 75H8998 (1.8 m 5.9 フィート)
 250V 10A		<ul style="list-style-type: none"> • タイプ 8361 専用: • 14F0050 (1.8 m 5.9 フィート) • 14F0051 (2.7 m 9 フィート) • タイプ 8362 専用: • 75H8997 (1.8 m 5.9 フィート)

表 14. タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーションの取り外し可能電源コード (続き)




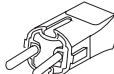

タイプ 8361 およびタイプ 8362 ネットワークステーション用の取り外し可能電源コード		
プラグ	コンセント	パーツ番号
 <p>250V 16A</p>		<ul style="list-style-type: none"> • タイプ 8361 専用: • 14F0014 (1.8 m 5.9 フィート) • 14F0015 (2.7 m 9 フィート) • タイプ 8362 専用: • 75H8993 (1.8 m 5.9 フィート)
 <p>250V 13A</p>		<ul style="list-style-type: none"> • タイプ 8361 専用: • 14F0032 (1.8 m 5.9 フィート) • 14F0033 (2.7 m 9 フィート) • タイプ 8362 専用: • 75H8994 (1.8 m 5.9 フィート)
 <p>250V 16A</p>		<ul style="list-style-type: none"> • タイプ 8361 専用: • 13F9978 (1.8 m 5.9 フィート) • 13F9979 (2.7 m 9 フィート) • タイプ 8362 専用: • 76H3536 (1.8 m 5.9 フィート) • 76H3514 (1.0 m 3.1 フィート)

表 15. オプションのケーブルおよびアダプター

通信ケーブルおよびアダプター		
<p>これらオプションの通信ケーブルおよびアダプターは、IBM から入手していただけます。タイプ 8361 またはタイプ 8362 ネットワークステーションを通信ネットワークに接続する場合に、代替品として使用するためのものです。ケーブルまたはアダプターが必要な場合は、下の図を参照して、必要なものを判別していただけます。ケーブルまたはアダプターに対応する参照番号を頼りに、パーツ番号を探してください。</p>		
RCBN116-3		
参照番号	記述	パーツ番号
1	TTP RJ-45 プラグ STP ケーブル、 9 ピン D シェル・コネクターへの接続用	60G1066
2	TTP RJ-45 プラグ・シールド対より線 (STP) ケーブル、 IBM 配線システム・コネクターへの接続用	60G1063
3	TTP RJ-45 ソケット・アダプター、 IBM 配線システムへの接続用	73G8315
4	TTP RJ-45 ソケット・アダプター、 9 ピン D シェル・コネクターへの接続用	73G8320
5	自動終端平衡型 T コネクター・ケーブルへのミニ D シェル	17G1538

表 15. オプションのケーブルおよびアダプター (続き)

6	5250 122 キー・キーボード・ケーブル・コンバーター	17G1544
---	-------------------------------	---------

付録B. 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

本書に記載されている図や仕様については、IBM の書面による許可なくその一部または全部を複写することは許されません。本書は、IBM が本書の中で示した特定機器の保守や修理を担当するサービス技術員にご利用いただくために作成されたものです。その他の目的には使用しないでください。

電源管理

タイプ 8361 ネットワークステーションの消費電力は 10 ワット (W) です。非活動期間中、消費電力は 8 ワット (W) に節減されます。消費電力の節減が行われるのは、Video Electronics Standards Association (VESA) Display Power Management Signalling (DPMS) 標準をインプリメントするモニターをタイプ 8361 ネットワークステーションで使用している場合です。

タイプ 8362 ネットワークステーションの消費電力は通常 24 ワット (W) です。非活動期間中、消費電力は 22 ワット (W) に節減されます。タイプ 8362 ネットワークステーションでは、Video Electronics Standards Association (VESA) Display Power Management Signalling (DPMS) 標準をインプリメントするモニターをサポートします。

電源管理は、IBM Network Station Manager ソフトウェアのフィーチャーの 1 つです。マウスまたはキーボードが一定期間使用されていないことをネットワーク・コンピューターが認識すると、このフィーチャーによってモニターの消費電力が節減されます。

電源管理フィーチャーによって、モニターには待機、中断、電源オフという 3 つの消費電力節減状態が生じます。それぞれの状態ごとに、ネットワーク管理者が遅延時間を定義します。遅延時間が経過すると、モニターは定義された状態に切り替わります。

以下では、タイプ 8361 ネットワークステーションおよびタイプ 8362 ネットワークステーションの両方で、VESA DPMS 標準に準拠する IBM モニターが電源管理フィーチャーにどのように応答するかについて説明します。

待機状態：一定の非活動期間が経過すると、ネットワークステーションはモニターに対して待機状態への切り替へを指示します。ネットワーク・コンピューターがモニター画面をブランクにし、電源表示ライトを変更します。キーを押したり、マウスを動かしたりすると、モニターは通常の動作を再開し、画面イメージが復元されます。待機状態の省略時間は 20 分です。

中断状態：非活動期間が待機状態で継続した場合は、ネットワークステーションはモニターに対して中断状態への切り替へを指示し、消費電力がさらに節減されます。モニター画面はブランクのままであり、電源表示ライトは待機状態の場合に似ているか、またはわずかに変化します。キーを押したり、マウスを動かしたりすると、モニターは通常の動作を再開し、画面イメージが復元されます。中断状態の省略時間は 40 分です。

電源オフ状態：非活動期間がさらに中断状態で経過すると、ネットワークステーションはモニターに対して電源オフ状態への切り替へを指示します。ネットワーク・コンピューターがモニター画面をブランクに保ち、電源表示ライトを変更します。キーを押したり、マウスを動かしたりすると、モニターは通常の動作を再開し、短時間の遅延後に画面イメージが復元されます。電源オフ状態の省略時間は 60 分です。

モニターが VESA DPMS に準拠しているかどうかの判別には、モニターのユーザーズ・ガイドを参照してください。ネットワークステーションに接続されているモニターが VESA DPMS 準拠でない場合は、電源管理フィーチャーは非活動状態のままになります。

タイプ 8361 ネットワークステーションでは、イーサネットおよびトークンリング接続がサポートされます。ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 接続は、電源管理状態に関係なく活動状態に保たれます。

VESA DPMS 電源管理に加えて、IBM Network Station Manager ソフトウェアには、タイプ 8361 ネットワークステーションに対する 603 プロセッサおよび L2 キャッシュの電源管理も用意されています。

ネットワーク管理者に連絡して、ご使用のネットワークステーションについて設定する電源管理値を決めてください。

IBM では、Energy Star パートナーとして、エネルギー効率に関する Energy Star プログラムへのタイプ 8361 ネットワークステーションおよびタイプ 8362 ネットワークステーションの両方の適合を決定しています。



製品のリサイクルと廃棄

構造部品や回路カードなどのシステム・コンポーネントは、リサイクル施設があればリサイクル可能です。現在 IBM では、下取りする製品以外、使用済み IBM 製品を顧客から回収してリサイクルすることはしておりません。電子製品の分解、再使用、リサイクル、廃棄などを行う会社がありますので、詳しくは、IBM の営業担当員にご相談ください。

システム装置には、鉛のはんだを含んだバッテリーや回路カードが入っています。この装置を廃棄する場合には、これらのバッテリーと回路ボードを取り外し、関連法規に従って廃棄するか、リサイクル施設がある場所には、リサイクルしなければなりません。本書には、それぞれのバッテリー固有の情報が該当する個所に記載されています。

タイプ 8361 ネットワークステーションの電波障害に関する特記事項

以下の記述は、IBM タイプ 8361 ネットワークステーション製品に適用されます。本製品と共に使用される他の IBM 製品を対象とする同等の記述は、その製品に添付されているマニュアルに記載されています。

電波障害に関する特記事項

以下の記述は、IBM 製品に適用されます。本製品と共に使用される他の IBM 製品についての同等の記述は、その製品に添付されているマニュアルに表記されています。

電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

タイプ 8362 ネットワークステーションの電波障害に関する特記事項

以下の記述は、タイプ 8362 ネットワークステーション製品に適用されます。本製品と共に使用される他の IBM 製品を対象とする同等の記述は、その製品に添付されているマニュアルに表記されています。

電波障害に関する特記事項

電波障害自主規制 届出装置の記述

注意:

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商標

次の用語は米国またはその他の国における IBM Corporation の商標です。

IBM
OS/400
Operating System/400
AS/400
RS/6000

System/390
PowerPC
IBM ネットワークステーション

PC Direct は、Ziff Communications Company の商標であり、その使用許諾のもとで IBM Corporation によって使用されます。

UNIX は、X/Open Company Limited がライセンスしている米国ならびにその他の国における登録商標です。

C-bus は Corollary, Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、および Windows 95 のロゴは Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Java および HotJava は Sun Microsystems, Inc. の商標です。

その他の社名、製品名、およびサービス名は、他社の商標またはサービス・マークである場合があります。

索引

日本語, 英字, 数字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アップグレード手順のステップ 27

[カ行]

概要 1

交換手順のステップ、パーツ 27

構成要素の説明

キーボード 6, 20

電源モジュール 6, 19

マウス 6, 20

論理装置 5, 18

[サ行]

使用、IBM ネットワークステーション・ネットワーク・コンピュータの 25

障害追及手順のステップ、ネットワークステーションに関する 39

商標 66

セットアップ手順のステップ、タイプ 8361 ネットワークステーションに関する 7

セットアップ手順のステップ、タイプ 8362 ネットワークステーションに関する 20

[タ行]

通信要件 6, 20

特記事項

一般的な 63

電源管理 63

取り替え、論理装置の 49, 50

[ハ行]

パーツ・リスト

オプションのケーブルおよびアダプター 61

パーツ・リスト (続き)

キーボード 51

電源モジュール 51

取り外し可能電源コード 58

マウス 51

メモリー・オプション 51

論理装置 51

[ラ行]

論理装置の取り替え 49, 50



部品番号: 87G3621

Printed in Japan

SA88-5055-00



87G3621

